

商学部外国語履修ガイドブック 2027



(英 語) (ド イ ツ 語) (フ ラ ン ス 語) (中 国 語)

(ス ペ イ ン 語) (朝 鮮 語) (ロ シ ア 語) (日 本 語)

このガイドブックの内容は、中央大学商学部のホームページにも掲載しています。
商学部 > 学びのポイント > 商学部のグローバル科目 > 外国語科目

外国語履修ガイドブック 目次

教員からのメッセージ	1
外国語の履修について	2
〔英語〕インテンシブ・クラス	7
〔英語〕留学(SA)クラス	8
〔第二外国語〕インテンシブ・クラス／既習者クラス	11
〔第二外国語〕グローバル・ステューデント(GS)育成講座	12
外国語紹介	
英 語	4
ド イ ツ 語	13
フ ラ ン ス 語	18
中 国 語	22
ス ペ イ ン 語	24
朝 鮮 語	28
ロ シ ア 語	32
日 本 語	36
中央大学の留学制度	40
商学部の海外渡航制度	42
～知らなきゃ損！奨学金制度～	43
留学体験記	44
留学サポート団体C-passについて	49

このガイドブックは、商学部で学ぶ外国語の紹介や履修方法の説明をし、みなさんの外国語の選択と学習の参考にしていただくために編集してあります。これからの社会で外国語の必要性はますます高まっていきます。ぜひとも熟読のうえ、これからはじまる4年間の大学生活で外国語の習得に努めてください。

教員からのメッセージ

Expand Your Opportunities

Imagine yourself when you are seventy. You may not believe it, but someday you will be that age. How will you look back on your time at university? Will you be happy because you took all the opportunities you were offered—or feel regret that you missed good chances?

We hope you'll be able to say you took the opportunities, and one of the best you get at Chuo is learning to speak English well. It's useful in itself—it will certainly help you when you're looking for a job—but it opens the door to so many other possibilities: travelling overseas, making friends with people from other countries, and studying or working abroad. Without it, your life may be limited to Japan—that may be OK for you now, but who knows what you'll want to do in the future? Don't miss the chance to learn a skill that will help you live a full and interesting life.

国際的な教養人になるために！

商学部では英語とともに、もう一つの外国語の習得も重視しています。とくにフレックス・コースでは、第二外国語が必修となっています。

なぜでしょうか。それはみなさんが卒業後どのような分野に進もうと、国際的な環境と無関係ではいられないからです。また、経営、会計、国際マーケティング、金融のいずれの学科で学んで卒業しても、もう一つの外国語が必ず皆さんのキャリアにプラスになるからです。第二外国語を学ぶことは、ただ実利的な意味で役立つというだけでなく、それを話す人々の生活や文化を知ること、みなさんの知的な世界をさらに広げてゆくことにもつながるでしょう。

フレックス *Plus1*・コースは、外国語1カ国語が必修となっています。大学時代に、グローバル社会の共通言語としての英語と、市場としてのヨーロッパやアジア、中南米等のローカル言語である第二外国語の両輪を身につけることができれば、これからの国際社会において皆さんの大きな強みとなるはずです。ひとりで勉強するのが難しい、初めての外国語にも、ぜひこの機会にチャレンジしてみてください。

それではまず、4ページから始まる各語学の説明を読んでください。

いかがですか。英語はもちろん、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語・ロシア語。これらの外国語には、ビジネスや、映画、音楽、ファッションなども盛り込まれています。

さらに、第二だけではなく、第三外国語を新たに学ぶこともできます。

また第二外国語の各語圏（ロシア語を除く）では、商学部独自の短期留学および1セメスター留学（プログラム）を用意しています（詳細は41ページ）。各語圏の「グローバル・ステューデント（GS）育成講座※」という科目を履修して留学すると、商学部の履修単位として認められます。学んでいる外国語をいっそうレベルアップするために、ぜひそのような機会を活用することをお勧めします。

さあ、これから始まる4年間に何語を学ぶか、じっくりと考えてみましょう。

▼「なんで二外なんてやらないといけないの？」



『なぜ第二外国語をまなぶのか』

※ロシア語ではグローバル・ステューデント（GS）育成講座は開講していません。

外国語の履修について

外国語の履修について

- フレックス・コースは、卒業に必要な単位として2ヵ国語（12単位）必修です。
フレックス **Plus1**・コースは、卒業に必要な単位として1ヵ国語（6単位）必修です。
- 必修外国語は週1時限につき、1単位です。
- フリーメジャー（学科自由選択）・コース合格者は、1年次は全員フレックス・コースとなります。
- 外国人留学生入学試験合格者（全員フレックス・コース）は、入学手続要項に掲載のAコース・Bコースの案内を参照してください。
- **選択した外国語およびクラスの変更はできません**ので、慎重に選択してください。選択した外国語は入学後、1、2年次での**必修科目**となります。
- 第二外国語は、各外国語とも定員を設けています。第一希望と第二希望の両方に、同じ言語（レギュラー・クラス、インテンシブ・クラス、既習者クラス）を選択することも可能です。1年次は、レギュラー・クラスと既習者クラスは週2回、インテンシブ・クラスは週3回の授業となります。

■フレックス・コース

第一外国語	英語（6単位必修）
第二外国語	ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語・ロシア語から1つ選択（6単位必修）

■フレックス **Plus1**・コース

外国語	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語・ロシア語から1つ選択（6単位必修）
-----	---

■外国人留学生入試合格者

Aコース	第一外国語	日本語（16単位必修）
Bコース	第一外国語	日本語（8単位必修）
	第二外国語	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語・ロシア語から1つ選択（6単位必修）

外国語のクラスについて

■英語は習熟度別に3つのクラスを設置しています。

入学前に実施するプレイスメント・テスト（CASEC）の結果により、クラス分けを行います。
プレイスメント・テストについての詳細は、別途入学手続サイトに掲載の案内を参照してください。

	インテンシブ・クラス	希望者対象の上級クラスです。履修を希望する学生は、プレイスメント・テストで、選抜基準を満たさなければなりません。「インテンシブ・クラス」「留学クラス」の内容と単位認定の詳細は、それぞれ7ページ、8ページをご参照ください。	1年次 週3時限 2年次 週2時限
	留学クラス		
	レギュラー・クラス	レギュラー・クラス内でも習熟度別クラスに割り振られます。	1年次 週2時限 (春・秋で4単位) 2年次 週1時限 (春・秋で2単位)

※ 1年次終了時に学習の成果を測るテストを実施し、習熟度に応じたクラスに再び割り振られます。

■ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語は到達目標別に3クラスから選択できます。ロシア語はレギュラー・クラスのみです。

外国語	クラス	説明	授業時間数
ドイツ語 フランス語 中国語 スペイン語 朝鮮語	レギュラー・クラス	その言語を初めて学ぶ人のためのクラスです。1年次週2回、2年次週1回です。	1年次 週2時限 2年次 週1時限
	インテンシブ・クラス	その言語を初めて学ぶ人のためのクラスです。ネイティブの先生の授業を含む週3回の集中クラスで、少人数制です。	1年次 週3時限 2年次 週3時限
	既習者クラス	これまで学んだことのある外国語の運用能力を基にそこからレベルアップしていくクラスです。	1年次 週2時限 2年次 週1時限
ロシア語	レギュラー・クラスのみ	週2回の授業で総合的な外国語運用能力をしっかりと身につけるクラスです。	1年次 週2時限 2年次 週1時限

第二外国語の選択について

受験生ポータルサイト「UCARO」(ウカロ)の入学手続ページにて、履修を希望する外国語・クラスの名称を第三希望まで選択してください。

選択した内容は変更できませんのでご注意ください。

決定した外国語のクラスは入学後に発表となります。

自分の語学レベルに応じた適切なクラスがわからない場合は、レギュラー・クラスを選択した上で、4月1日の新入生第二外国語履修相談会に出席してください。担当教員が相談に乗り、適切なクラスを提示・登録します。

なお、外国人留学生入学試験合格者は、本人が国籍を有する国の公用語を第二外国語として選択することはできません。

第二外国語

第二外国語 (第一希望) **必須**

第二外国語 (第一希望) を選択

第二外国語 (第二希望) **必須**

第二外国語 (第二希望) を選択

第二外国語 (第三希望) **必須**

第二外国語 (第三希望) を選択

第二外国語 (第一希望) **必須**

第二外国語 (第一希望) を選択

ドイツ語 レギュラー (German Regular)
ドイツ語 インテンシブ (German Intensive)
ドイツ語 既習者 (German Advanced)
フランス語 レギュラー (French Regular)
フランス語 インテンシブ (French Intensive)
フランス語 既習者 (French Advanced)
中国語 レギュラー (Chinese Regular)
中国語 インテンシブ (Chinese Intensive)
中国語 既習者 (Chinese Advanced)
スペイン語 レギュラー (Spanish Regular)
スペイン語 インテンシブ (Spanish Intensive)
スペイン語 既習者 (Spanish Advanced)
朝鮮語 レギュラー (Korean Regular)
朝鮮語 インテンシブ (Korean Intensive)
朝鮮語 既習者 (Korean Advanced)
ロシア語 レギュラー (Russian Regular)

プルダウンより、希望の外国語・クラスの名称を選択します。

※画面イメージは変更になる可能性があります。

Turn Knowledge into Action & Go Global!

大学で学ぶ英語は、世界と社会への架け橋です

みなさんがこれから大学で学ぶ英語は、今までの点数を取るための受験英語とは大きく異なり、次のような目標を持って行われます。

- ・国際的なコミュニケーションの輪を広げる
- ・就職のチャンスを広げ、さらに就職後のビジネスの機会を広げる



大学で専門科目を学ぶとき、そして卒業して社会人になったとき、主要な国際語である英語を使ったコミュニケーションの力が求められます。近年は企業の国際化が進み、英語を社内の公用語にする企業も出てきました。あなたは、今の自分の英語で意見を世界の人々に伝えたり、ビジネスを行うことができますか？大学の英語の授業では、世界と社会への架け橋となる、英語でのコミュニケーション能力を高めることを目指します。

レベルとニーズに合わせた英語カリキュラム

英語の必修の授業は、1年次は週2コマ、2年次は週1コマで、それに加えて選択科目の英語の授業を履修することができます。1年次に履修する英語(a)は「読む+書く」を中心に、英語(b)は「聞く+話す」を中心に、それぞれ英語のコミュニケーション能力を伸ばす授業です。2年次に履修する英語(レギュラー・クラスだと「英語(a)Ⅲ」「英語(a)Ⅳ」)では、読む、書く、話す、聞くの4技能を総合的に伸ばします。1クラスあたり、1年次の半分の15人程度の少人数で、より密度の濃い学習ができます。

新入生は授業開始に先立って全員プレイスメント・テストを受け、その結果に応じてクラス分けされます。また秋には全員TOEICを受け、そのスコアをもとに2年次の必修英語のクラス分けが行われます。

英語のクラスにはレギュラー・クラス、インテンシブ・クラス、留学クラスの3種類があり、大半の学生はレギュラー・クラスを履修することになりますが、意欲があり、入学時のプレイスメント・テストおよび別に行われる選抜テストで高スコアを取った学生は、毎週より多く、より集中的に英語を学べるインテンシブ・クラスあるいは留学クラスに入ることができます。

商学部の英語カリキュラムでは、各人が自分に適したレベルのクラスで授業を受けることができ、また2年次に必修科目としての英語のコマ数が少なくなるため、2年次以降は各人のニー

ズに合わせてより柔軟に履修科目を選択することができます。必修の英語と共に興味に合った選択科目の英語を履修したり、また2年次では専門科目の授業や資格試験の勉強に集中的に取り組み、3年次以降に選択英語を履修することも可能です。自分の関心や必要に合わせて4年間で英語の力を伸ばすことができるシステムになっています。

国際的な活躍のために英語を磨く、インテンシブ・クラス

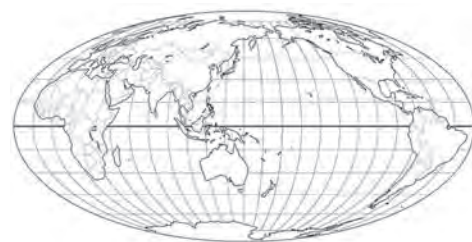
商学部ではインテンシブ・クラスという上級英語クラスを設置し、「将来国際的な場で英語を使って活躍したい」という学生の英語総合力を伸ばす機会を設けています。このクラスは1年次は週3コマ、2年次は週2コマで、レギュラー・クラスよりも1コマずつ多い授業で集中的に学びます。また少数精鋭のクラスで1年次から定員15人です。IELTS受験の対策を重視する留学クラスと異なり、より一般的な英語力の向上を目指します。時事問題や評論、学術的な文章など、高度あるいは複雑な内容の英文を読み理解する力、自分の意見などを筋道を立てて書く力、身近な内容についてディスカッションし自分の意見を発言する力、ビジュアルエイドを使ったプレゼンテーションをする力などを養います。なお授業は原則的にすべて英語で行い、ネイティブスピーカーと日本人の教員が担当します。



少人数で和気あいあいとした雰囲気の中、コミュニケーションを重視した総合的な英語運用能力を伸ばすことができます。1年次、2年次の2年間を通して継続的な努力が求められるクラスですが、最後までやり通すと英語力が飛躍的に向上するのは間違いありません。海外帰国生はもちろん、英語運用能力特別入試で入学した学生、受験勉強で磨いた英語の語彙力や文法力を活かして、もっと英語を上達させたい学生には、ぜひチャレンジして欲しいクラスです。

留学の夢をかなえる留学クラス

留学クラスは、英語圏の大学（あるいは大学付属機関）への長期留学（1年間または1セメスター）を実現するためのクラスです。1年次では週3コマ、2年次では週2コマの授業を履修します。クラス定員は15名、担当者は日本人教員とネイティブスピーカーの教員です。日本人教員は海外の長期留学の経験を持ち、国際経験豊かな者が担当します。



1年次はIELTSの指導を中心とした授業を行います。IELTSは留学に必要なアカデミックな場面での英語コミュニケーション能力を総合的に計るテストで、大学の講義に近いレベルのリスニングやリーディングを行い、それに関連する小論文を書いたりスピーキングをするなど、難易度の高いタスクが課されます。IELTSを一度も受験したことがない人でも、留学に必要なスコアを取得できるようにするため、少人数クラスできめ細かい指導を行います。

2年次では、1年次に取得した英語能力をさらに伸ばすため、授業内容は、留学直前の学生に必要な英語の力を、集中した授業時間・内容で高めるものになっています。

留学クラスは、留学を夢で終わらせず、グローバルな人材として世界で活躍したい学生を全力で応援するクラスです。みなさんの積極的なチャレンジを期待しています！

必修以外の英語～目的と関心に応じて選べるさまざまなクラス～

必修の英語の授業に加えて、さらに英語を勉強したいという学生には、英語 (e1) や英語 (e2) の授業が用意されています。

英語 (e1) は英語運用能力をさらに伸ばしたい人に向けたクラスで、1 セメスターにつき 1 単位が付与されます。4 技能 (Listening, Reading, Writing, Speaking) のうち 1 ～ 2 の技能に絞ってみっちり鍛えたい人や、資格試験でのスコアアップを望む人などのニーズに応える授業を行います。「Listening」「Writing」「Oral Communication」「Pronunciation」「TOEIC」などのクラスがあります。

英語 (e2) は「英語を」勉強するだけでなく、「英語で」何かを勉強することを目的にしています。1 セメスターにつき 2 単位が付与されます。「English through Literature」「Consumer Culture in America」「Consumer Culture in Britain」などのクラスがあります。

自分の目的と関心に応じて、必修科目の英語と合わせて積極的に受講してください。

留学クラス以外でも、もちろん留学できます！

留学クラス以外の学生でも、もちろん海外留学をすることは可能です。ぜひチャレンジしてみてください。中央大学の留学制度については、39 ページに詳細な説明があります。中央大学の留学制度を利用し、1 年間あるいは 1 セメスター (学期) の留学をした学生は、留学先での修得単位が 40 単位まで (1 セメスター留学の場合は 20 単位まで) 認められます。したがって、卒業を延期することなく 4 年間で大学を卒業することも可能です。中央大学の短期留学では、夏季休暇中に協定校 (2026 年現在英語圏はアメリカ 1 校、イギリス 1 校、オーストラリア校 1 校) に留学し、大学で受講した事前授業 (または事前・事後研修) と併せて 4 単位もしくは 2 単位を修得することができます (夏季短期留学プログラム)。



春季短期留学プログラムでは、春季休暇中に協定校 (2026 年現在英語圏はアメリカ 1 校、オーストラリア 2 校) に留学し、留学前後に大学で受講する研修と併せて 2 単位取得できます。

また、商学部留学プログラム (カナダ、フィリピンの大学への 1 セメスター留学) では、最大 14 単位認定されます。

長期留学の場合、留学先で専門科目を履修することが目標ですから、授業を受けるために必要な英語力を身につけておかなくてはなりません。商学部では原則として、TOEFL 68 点または IELTS 5.5 以上を取得してから留学してほしいと考えています。留学クラスではないけれど、少しでも留学に興味のある人は、英語の教員や国際センター (グローバル館 2F)、商学部事務室にぜひ積極的に問い合わせ、春と秋に行われる留学フェアや説明会等に参加してください。国際センターは敷居が高い、という人はヒルトップ (食堂や生協のあるビル) 2F にある異文化交流ラウンジ G スクエアのイベントをチェックしてみましょう。

※ G スクエアの活動・SNS 紹介はこちらから

また、商学部の留学経験者による留学サポート団体 C-pass では、個別相談にも応じてくれます。詳しくは、49 ページをご覧ください。



インテンシブ・クラス

—目標に向けて英語を集中的に学ぶ—

「インテンシブ・クラス」は、英語学習への高い意欲を持ち、大学在学中または卒業後の各自の目標に向けて英語を集中的に学ぶことを希望する方にお勧めするクラスです。

このクラスは 1・2 年次の英語必修科目の中の 1 クラスとして組み込まれています。レギュラー・クラスとの違いの一つは、1 年次は週 3 コマ、2 年次は週 2 コマとそれぞれ 1 コマ多い授業を集中的に受講することです。もう一つの特徴は、1 年次から定員 15 名の少数精鋭クラスで学ぶことです。留学クラスとの違いは、留学クラスでは IELTS (International English Language Testing System) のスコアを伸ばすための指導が行われるのに対して、インテンシブ・クラスでは、より一般的な英語力向上のための指導が行われることです。時事問題や評論、学術的な文章など、高度あるいは複雑な内容の英文を読み理解する力、自分の意見などを筋道を立てて書く力、身近な内容についてディスカッションし自分の意見を発言する力、ビジュアルエイドを使ったプレゼンテーションをする力などを養います。2 年間の総取得単位数は 10 単位で、必修 6 単位を上回る 4 単位は選択科目として卒業に必要な 130 単位に組み込まれます。

履修は希望に基づき選抜を行って決定します。1 年次の履修者は、全新入生が受験するコンピューターベースのクラス分けテストに加え、インテンシブ・クラス希望者を対象に実施する筆記試験によって決定します。習熟度に応じてインテンシブ・クラス 1 組とインテンシブ・クラス 2 組のいずれかに所属します。授業はネイティブスピーカーと日本人の教員が担当し、原則的にすべて英語で行われます（1 組は原則的に英語のみ、2 組は場合により日本語を使用することもあります）。2 年次の履修者は、全 1 年生が受験する TOEIC IP テストに加えて各クラスでの成績に基づいて決定し、インテンシブ・クラス 1 組と 2 組あるいはレギュラー・クラスとの入れ替えが行われることもあります。

2 年間を通じて努力を継続することが求められるクラスですが、教員と少人数の履修者が一体となった和気あいあいとした雰囲気の中で学び、最後までやり通した学生には英語力の飛躍的向上が約束されるクラスです。海外帰国生はもちろん、英語運用能力特別入試で入学した学生、受験勉強で磨いた英語の語彙力や文法力を活かして、もっと英語を上達させたい学生には、ぜひチャレンジして欲しいクラスです。

クラスの様子と学生の声

“I like this class because all my classmates have high English proficiency.”

“This class has students with different backgrounds. I think it is fun and encourages me to study harder.”

“I could learn aspects of English that I hadn’t studied at high school.”

“This class has a lot of homework. You have to have a strong will.”



留学(SA)クラス

ーグローバル・マインドセットを醸成するー

商学部では、国際社会に相応しいグローバルな人材を養成する独自の「商学部留学プログラム」を設置しています。「留学クラス」は、大学在学中に英語圏への長期留学を希望する方にお勧めするクラスです。このクラスは1・2年次の英語必修科目の中の1クラスとして組み込まれており、1年次は週3コマ、2年次は週2コマと、レギュラー・クラスより週1コマずつ授業を多く受けます。履修者（入学時に希望者を対象に選抜試験を実施）に対し、2年次秋学期からの留学を前提に、留学要件を満たせるよう準備指導を行います。具体的には、授業の中で、英語圏の大学への長期留学に必要なIELTS (International English Language Testing System) のスコアを伸ばす指導を中心に行います。定員15名の少人数クラスで、ネイティブスピーカー、日本人の教員による授業です。

留学先での取得単位は、帰国後に学修成果を確認したうえで商学部の科目として認定されます。単位認定は、留学先での授業時間・修得単位数・成績、帰国後のプレゼンテーションやレポート等の内容を考慮して行います。留学クラスの履修者は、担当教員の推薦状があれば、商学部の1セメスター留学に応募ができます。詳細は、入学後のガイダンス等でご確認ください。

留学に向けてしっかりと準備したうえで、目的やレベルに応じた留学を実現し、外国語の実践的なコミュニケーション能力はもちろんのこと、問題解決力や他者の文化、価値観、立場を理解できる“グローバル・マインドセット”を養うことができます。将来、商学部の関連分野でグローバルな活躍をするためには、まず、外国語での実践的なコミュニケーション力が必要なのです！

商学部の英語留学の制度

学部では、英語で学ぶための様々な留学の機会が用意されています。

(1) 長期留学（交換留学・ISEP・認定留学）

中央大学の協定校や ISEP の加盟校への留学制度や自分で留学先を決め本学より認定してもらう認定留学制度を利用します。単位認定は1年間で最大40単位、半期（セメスター）で最大20単位です。

【英語で授業を受けられる学生交換実施協定校（2026年度派遣交換留学募集実績）】

アメリカ17校、イギリス7校、オーストラリア8校、アイルランド2校、シンガポール2校、カナダ2校、フィリピン1校、スウェーデン2校、デンマーク2校、タイ4校、マレーシア5校、香港（中国）3校、マルタ1校、トルコ1校、ベルギー2校、ドイツ1校、インドネシア3校、フランス3校、オランダ2校、ポーランド2校、クロアチア1校、イタリア3校、スイス1校、インド2校、カンボジア1校、ベトナム1校

(2) 1セメスター留学（商学部留学プログラム）

トロント大学（カナダ）にて、Business Englishなどを学ぶコース、セント・ラ・サール大学（フィリピン）の附属語学学校である LSLC (Language Skills Learning Center) にて英語力を伸ばします。単位認定は最大14単位まで、期間は約4ヶ月になります。

(3) 短期留学プログラム

事前授業または事前事後研修を履修し、夏季または春季に留学することで、単位を取得できます（夏季4単位または2単位、春季2単位）。留学期間は夏季休暇中（8月～9月）または春季休暇中（2～3月）の3～4週間程度になります。

【英語圏の実施校（2025年度募集）】

夏季：カリフォルニア大学デイヴィス校（アメリカ）、シェフィールド大学（イギリス）、スウィンバーン工科大学（オーストラリア）

春季：ハワイ大学マノア校（アメリカ）、スウィンバーン工科大学（オーストラリア）、オークランド大学（ニュージーランド）、フリンダース大学（オーストラリア）

(4) FGLP (Future Global Leaders Program)

アメリカの大学サンディエゴ校に3週間留学する春季短期留学プログラムです。現地大学院の専任教員による国際経済、政治、法律、リーダーシップ、マネジメント分野のグローバルなトピックを受講することができます。

よくある質問

Q：英語が苦手で、大学の授業についていけるか不安です。

A：心配ありません。必修英語のクラスはレベル毎に分けられています。同じ習熟度の学生とともに、レベルに適した教材で学ぶことができます。また、クラス分けテストの結果、特に英語が苦手であると判断された場合は、より少人数のクラスで指導を受けることができます。2年次になると、全員が15名前後の少人数クラスに所属し、一層丁寧な指導を受けるようになります。

Q：1年次と2年次では同じクラスを履修しなければいけませんか。クラスの変更はできますか。

A：クラス変更は可能です。1年次秋に、2年次の希望クラスについてアンケートを取り、団体受験する TOEIC IP テストのスコアと授業の成績に基づき、2年次の所属クラスを決定します。

Q：TOEIC のスコアを伸ばしたいと思っています。どう勉強すればいいですか？

A：1年次は、留学クラスを除く全てのクラスで TOEIC の指導を行います。さらに意欲あるみなさんのために、選択科目である 英語 (e1) にも TOEIC 対策クラスを設けています。また、国際センターでも TOEIC 対策講座が年間を通じて開講されています。

Q：在学中に留学をしたいと思っています。どのような準備をしたらよいでしょうか。

A：TOEFL や IELTS のスコアを伸ばすには時間がかかるので、留学を検討している場合には、入学後すぐに勉強を始めてください。また、GPA（全科目の成績平均）も重要なので、英語だけでなく全ての授業で努力することが大切です。さらに、プログラム科目グローバル・プロフェッショナル・プログラムでは、様々な地域の社会や文化について学ぶことができます。

Q：留学クラスのほかに、IELTS を学ぶことのできるクラスはありますか。

A：国際センターが、TOEFL・IELTS 講座を開講しています。他の学部の学生とともに学ぶ全学の講座となります。詳しくは国際センターの HP を参照してください。

Q：留学クラスやインテンシブ・クラスで1年次に6単位を取得すると、必修英語の6単位を満たしたことになりますか。2年次の英語は履修しなくても卒業できるのでしょうか。

A：なりません。卒業に必要な必修英語の単位は、1年次に4単位、2年次に2単位です。1年次に取得した必修分を上回る2単位は、選択科目の単位として認定されます。詳細は、『商学部履修要項』を参照してください。

インテンシブ・クラス

—「ゼロ」から始めて、生きていく「武器」を手に入れよう—

Q1. 第二外国語経験者のクラスですか？

—違います！ みなさん「ゼロ」から始めるクラスです。

第二外国語の学習経験がある人は、「既習者クラス」を選択してください。

Q2. 授業を受けるメリットはありますか？

①1年生から15名の少人数で仲良く、楽しく練習できます(レギュラー定員のほぼ半分)。

②ネイティブの先生「中心に」発音も文法もわかりやすく学べます。

③レギュラー・クラスは週2コマですが、インテンシブ・クラスは週3コマあるので、じっくりマイペースに学べます。

Q3. 効果はありますか？

—まずは、なんといっても語学力の向上でしょう。

一般クラスの学生より、多くの時間言語に触れることで、修得度が増します。

それにより語学検定試験の合格率も高まりますので、留学や奨学金の出願に有利になります。また、より修得度を高めて留学することで、理解度が増し、留学の効果が高まります。

実際、留学に参加している多くの学生がインテンシブ・クラスの出身者です。

既習者クラス

—もっている知識を生かそう—

Q. 「既習者クラス」とは どんなクラスですか？

「既習者クラス」は、中学や高校、独学や留学、生活環境など、さまざまな理由で、その外国語を学ぶのがはじめてではないみなさんのためのクラスです。対象は、第二外国語についての知識が「ゼロ」ではない人全員です。必要な知識についてはもちろん復習しながら、もうすでにできることはスキップして、効率的に語学力を伸ばしていけます。

【履修登録の方法】

既習者に該当する場合は、入学手続ページ（UCARO）で第二外国語選択時に、希望する外国語の「既習者クラス」を選ぶ。

自分の語学レベルに応じた適切なクラスがわからない場合は、レギュラー・クラスを選択した上で、4月1日の新入生第二外国語履修相談会に出席し、「既習者クラス」への登録申し込みを行う。

グローバル・ステューデント (GS) 育成講座

—実践的な語学力を強化する—

「グローバル・ステューデント (GS) 育成講座」は、留学を志す方の第二外国語（ロシア語を除く）の運用能力と異文化コミュニケーション能力を高めることを目的とした講座です。1 年次から 4 年次まで、履修要件を満たせば誰でも受講できる週 1 コマの選択科目です（必修外国語とは別に履修する必要があります）。各語圏とも定員は 20 名の少人数制で、必修の授業だけでは習得困難な実践的かつアカデミックな語学力を強化し、当該国の文化理解を深めます。また、この授業の単位を修得することで第二外国語圏の「商学部留学プログラム（下記参照）」に参加するための資格を満たすことができます。もちろん、「グローバル・ステューデント (GS) 育成講座」は留学だけを目的とした授業ではありません。留学までは考えていないけれど学んでいる外国語が話されている国の文化や社会について理解を深めたいというあなたも大歓迎です！

「商学部留学プログラム」は、商学部が独自に開設した短期または 1 セメスター（半期）の留学プログラム（下記参照）で、どれも厳選された内容となっています。

留学先での修得単位は、帰国後に学修成果を確認したうえで商学部の科目として認定されます。単位認定は、留学先での授業時間・修得単位数・成績、帰国後のプレゼンテーションやレポート等の内容を考慮して行います。また、留学をサポートする奨学金制度もあります。詳細は、入学後のガイダンス等でご確認ください。

すべての語圏において、GS 育成講座の単位を修得するか、または別途定められた語学要件を満たすことが「商学部留学プログラム」の参加資格となります。留学時期は、短期留学プログラムは夏季休業中（8 月～9 月）または春季休業中（2 月～3 月）で、3 週間程度のプログラムとなります。なお、1 セメスター留学は、各語圏の学期スケジュールに応じて春学期または秋学期の半年間のプログラムとなります。また、参加費用は、語圏や参加時期、人数によって異なります。詳細は、入学後のガイダンス等でご確認ください。

2026 年度「商学部留学プログラム」協力校（第二外国語圏）

【1 セメスター留学】

<ドイツ語圏>

ウィーン大学

<フランス語圏>

エクス・マルセイユ大学

<スペイン語圏>

アルカラ大学、アリカンテ大学、
サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学

<中国語圏>

復旦大学、北京師範大学、对外経済貿易大学

<朝鮮語圏>

延世大学、慶熙大学

【短期留学】

<ドイツ語圏>

ウィーン大学

<フランス語圏>

トゥールーズ＝ジャン・ジョレス大学

<スペイン語圏>

アルカラ大学、アリカンテ大学、
サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学

<中国語圏>

北京語言大学

<朝鮮語圏>

延世大学、慶熙大学

※上記以外にも協力校があるので、詳細は商学部事務室窓口へお問い合わせください。
(年度によって、協力校は変更になる場合があります。)



ドイツ語の世界を知ろう♪

どこで話されていることば？

ドイツ語を公用語にしている主な国は、EU最大の経済大国ドイツ、観光立国で音楽の都ウィーンを擁するオーストリア、『アルプスの少女ハイジ』の舞台であるスイス、非常に小さいながら金融で知られるリヒテンシュタインです。そのほかに、国民一人当たりのGDPが世界一のルクセンブルクと美食で知られるベルギーでも公用語とされています。ドイツ語はEU圏内で第一言語としての話者数が最も多い言語です。



学習言語としてもドイツ語は多くの地域でよく選ばれています。デンマークやスウェーデンなどの北欧諸国、チェコ、ポーランド、ハンガリー、スロバキアなどの東欧諸国、さらにはスペインやイタリアなどの南欧諸国に至るまで多くの地域で学ばれ、特に東欧諸国ではドイツ語学習熱が高い傾向にあります。ドイツ語ができれば、経済的に強いドイツ語圏での就職の道が開けるからです。そうでなくとも母語プラス2言語の3言語ができることが推奨され、ある意味それが標準的と言ってよいEUではドイツ語は多くの人に学ばれ、ドイツ語圏への留学生も多くいます。さらにはEU圏内だけでなく世界的に見ても多くの人に学ばれ(第4位)、広く話されている言語のひとつです。

身近にあるドイツ語

日本語になったドイツ語はたくさんあり、日常的によく使っているものも多いです。いくつか例を挙げてみます。

日本語	ドイツ語
アルバイト	Arbeit
エネルギー	Energie
アレルギー	Allergie
カルテ	Karte
リュックサック	Rucksack
レントゲン	Röntgen
バウムクーヘン	Baumkuchen

(Baum = 木 / Kuchen = ケーキ)



ベルリン (ドイツ)



ノイシュヴァンシュタイン城、フュッセン (ドイツ)

ドイツ語と英語の関係

ドイツ語と英語は同じゲルマン系の言語で、オランダ語もこれに属します。歴史で習う「ゲルマン人の大移動」のゲルマンです。同じヨーロッパ言語の中でもフランス語、イタリア語、スペイン語などのロマンス系言語とは系統が異なります。かつて、現在のヨーロッパ地域に住み着いていたゲルマン人たちは西・北・東ゲルマン語を話していました。西ゲルマン語を話していたゲルマン人たちの中で主にアンゲル人とザクセン人がブリテン島に渡り、のちにアングロ・サクソンと呼ばれることになります。イングランド (England) という名は「アンゲル人の土地」という意味です (ザクセンの名は今もドイツの州の名称に残っています)。その人々が話す言語が英語 (English) になり、そして大陸に残ったほうのゲルマン人たちが話す言語がドイツ語、オランダ語になりました。このようにドイツ語と英語は歴史的に見て非常に近い言語なので似ています。一方で発音や文法規則の中には異なる部分も多くあります。ドイツ語を学習し、その似ている部分と異なる部分を詳しく知ることによって「英語のあれはそういうことだったのか!」と気づくことができます。



*ドレスデンはザクセン州の州都

ゲルマン系の3つの言語の単語を比較してみましょう。地理的關係を踏まえて西から順に並べてみます。発音はいったん置いておいて、つづりがよく似ていますね。

意味	英語	オランダ語	ドイツ語
父親	father	fader	Vater
通り	street	straat	Straße
金曜日	friday	vrijdag	Freitag

もう少しドイツ語単語と英単語を比べてみましょう。

英語	ドイツ語	意味
father	Vater	父親
book	Buch	本
good-better-best	gut-besser-best	良い
sing	singen	歌う
find	finden	見つける

とてもよく似ていることがわかると思います。ほかにも例えば「名前」は英語で name、ドイツ語では Name でまったく同じつづりです。ただし発音は違います。詳しい発音のルールはぜひ授業で学んでほしいですが、簡単に言うとドイツ語はいわゆるローマ字読みに近いことが多いです。例えば Name の発音は「ナーメ」で、ローマ字読みで単純かつカタカナ発音でも悪い発音ではありません。

ドイツとオーストリアについて

ドイツの特徴を端的に言えば、経済、工業、環境、学術・研究です。人口は約8400万人で日本の約3分の2ですが、2023年にGDPで日本を抜き世界第3位になりました。科学技術力、工業力の高さは例えば世界的に有名な自動車メーカー（メルセデス・ベンツ、BMW、アウディ、フォルクスワーゲン、ポルシェ）に代表されていると言ってよいでしょう。ドイツは環境先進国としても知られていて2023年の電力消費量に占める再生可能エネルギーの割合が50%を超えました。大学、研究機関の質の高さでも知られていて、世界で3番目に多くのノーベル賞受賞者を輩出しています。また、世界遺産の登録件数も世界第3位で、55件登録されています。

順位	国名	登録件数
1	イタリア	61
2	中国	60
3	ドイツ	55
4	フランス	54
5	スペイン	50
6	インド	44
7	メキシコ	36
8	英国	35
9	ロシア	33
10	イラン	29
11	日本、アメリカ	26
24	スイス	13
27	オーストリア	12

世界遺産登録件数ランキング

ドイツの最新の情報を詳しく知りたい方はドイツ外務省による冊子『ドイツの現状』（2023）をぜひご覧ください（PDFで閲覧できます）。

オーストリアの特徴をズバリ3つ挙げるとしたら芸術、観光、自然です。芸術の中でも何と言っても音楽で、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、ブルックナー、マーラーなどが住んでいた「音楽の都」ウィーンは別格です。ウィーン国立歌劇場やウィーン・フィルは世界的に特に有名です。オーストリアは観光立国としても知られていて、ハプスブルク期の栄華の香りを残す首都ウィーン、モーツァルトの生誕地ザルツブルクには世界中から多くの観光客が訪れます。文化的遺産のほかに美しい自然も魅力です。世界遺産も多く、国土面積が北海道とほぼ同じくらいでありながら12件登録されています（世界第27位）。



シュテファン大聖堂（ウィーン）



ハルシュタット（オーストリア）

中央大学からドイツ語圏の大学へ

留学制度には1か月間、1学期、1年間の3つの留学期間があります。在学中に短期間でも留学することを強くおすすめします。

おもな留学先

1. テュービンゲン大学	
2. ヴュルツブルク大学	
3. オスナブリュック大学	
4. ベルリン自由大学	
5. ミュンスター大学	
6. ミュンヘン大学（法学部のみ）	
7. アーヘン工科大学（理工学部のみ）	
8. フランクフルト金融経営大学（英語）	
9. ウィーン大学（商学部のみ）	



* 国際センターおよび商学部の留学プログラムで留学できるドイツ語圏の大学です。

もっと知りたい方へ

Padlet「中央大学商学部ドイツ語」で中央大学商学部のドイツ語科目、演習科目、講義科目、留学、検定試験、奨学金などの情報を発信しています。ぜひ覗いてみてください！

そのほか、X（旧 Twitter）でたまにつぶやいています（X「中央大学商学部ドイツ語」）。

おわりに：外国語を学ぶということ

„Wer fremde Sprachen nicht kennt, weiß nichts von seiner eigenen.“

「外国語を知らない者は、自身の言語についても何も知らない」

最後にドイツを代表する文豪ゲーテが残した言葉を紹介します。

外国語を知ることによって母語に自覚的になります。その外国語が英語だけでなくさらにもう一言語あるとより相対化されより複眼的になります。そして母語に自覚的になるのみならず、自分が育った文化を、そして自分自身を深く知ることにつながっていきます。

その意味では学ぶ言語はドイツ語でもまた別の言語もいいのですが、みなさんとぜひ一緒にドイツ語を学ぶことができれば嬉しいです♪

フランス語で世界にはばたこう

どこで話されていることば？

フランス語の常時使用者は約1億2300万人、時々フランス語を話す人は7200万人で、世界のフランス語人口は合計約2億人です。フランス語は英語と並んで国連の作業用の言語であり、欧州会議やオリンピック委員会、ユネスコ、世界貿易機関、NATOなど多くの国際機関の公用語・作業語として用いられ、国際機関で活躍するには必須の言語です。



フランス語は世界29か国の公用語であり、また50か国以上の国で話されています。それでは、フランス以外のどこで話されているのか見ていきましょう。

まず、ヨーロッパではベルギーやスイス、ルクセンブルグ、モナコの公用語です。また、北米ではカナダのケベック州を中心に約650万人が母語としてフランス語を話します。また、マグレブと呼ばれる北アフリカのモロッコ、アルジェリア、チュニジアではフランス語が第2言語として広く使用されています。サハラ以南のアフリカ諸国（セネガル、コートジボワールなど）、カリブ海（ギアナやグアドループなど）、かつて仏領インドシナと呼ばれたベトナム、ラオス、カンボジア、太平洋の島々（ニューカレドニア、フランス領ポリネシアなど）でもフランス語が使用されています。

日本語・英語とはどんな関係？

1066年に、フランス国王の臣下であるノルマンディー公ギヨーム（英語ではウィリアム）がイギリスを征服します。その後300年以上にわたってイギリスの歴代の王はフランス語を話すことになります。その結果、現在の英語の語彙の半分はロマンス語系（フランス語とラテン語）です。

また古いフランス語が英語になだれ込んだので、同じ起源を持つ現代英語と現代フランス語とに異同があるのも面白い現象です。現代でも英語の beauty とフランス語の beauté は同意ですが、英語の travel（旅）とフランス語の travail（仕事）では異なっています。古仏語の travail は中世ラテン語の tripalium（「三本杭」の意で動物を繋いで焼印を押したり人を縛って拷問に使った）ので「拷問」「激しい苦痛」の意味でした。島国の英国人にとっては旅が苦痛であり（同じ島国の日本の「かわいい子には旅をさせよ」＝「苦勞させよ」と似ています）、フランス人にとっては仕事が苦痛だったわけです。

現代英語の nice は古仏語の nice（無知な、愚かな）から派生していて、英語の現代の意味「すてきな」を十分に説明することは不可能に近い（ウィークリー『言葉のロマンス』）とされています。ですが、中世の物語に拠れば、「無知な」青年ペルスヴァルが最後に聖杯を手に入れることができます。してみると「無知な」ことは、これから大事なことを知ることができる

という意味で、「すてきな」ことなのかもしれません。不思議なことに nice は現代フランス語では消滅してしまっています。

次に日本語との関係を見てみましょう。フランス語は日本語とは大変異なった言葉です。でも、みなさんが知っているフランス語が日本には溢れています。例えばお菓子の名前です。カフェオレ、パン、クロワッサン、ガトーショコラ、タルト、ムース、エクレアなど。ところで、「ラングドシャ」というビスケットをご存知ですか？ ラング=舌、ド=英語の「of」に似た前置詞、シャ=猫 という3語からなり、「猫の舌」という意味です。確かに薄いビスケットの形が猫の舌に似ています。こんなふうに、お菓子や料理の名前からどんな食べ物か推測してみましょう。

音と文字

フランス語はラテン語が崩れてできたロマンス語（他にイタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ルーマニア語など）のひとつなので、原則的にはローマ字読みです。ローマ字読みしない点だけを以下に説明しましょう。

なぜローマ字読みしないかというと、音は革新的で、文字（表記）は保守的だからです。文字はまずその当時の音を正確に表記しようとします。ところが文字表記が一旦できあがると、音は次第に変わって行くのに文字表記はなかなか変えられません。たとえば日本語の「私は」「図書館へ」「本を」も「わ」「え」「お」と発音するのに、発音の通りには書けません。保守的ですね。フランス語でも中世・ルネサンスを通じて慣例化した表記は、十七世紀にはすでに発音と合っていなかったのですが、当時の言語学者が慣例を尊重してそのまま採用してしまったのです。そのときすでに最後の子音は発音しなかったし、重母音は短母音化していたのです。

最後の子音は例外を除いて発音しません。Paris は「パリ」、Louis は「ルイ」です。重母音の短母音化の現象は規則的なもので例外がほとんどありません。ai は「アイ」ではなく「エ」と発音します。なぜ重母音が短母音化するのでしょうか。それは口の筋肉の経済効率化なのです。発音は短母音の方がはるかに楽です。日本語でも「見たい mitai」と言うより「見てえ mite」と言う方が楽です。「アイ」が「エ」になるのですから、現象としてはフランス語と全く同じですね。口の構造はどの民族でも似ているからでしょう。au と eau は「オ」と、ou は「ウ」と発音します。eu と oeu は「オ」の口で「エ」と発音します。面白いのは oi を「ウワ」と発音することです。日本語で人を後ろから脅かすとき「ウワ」と言いますが、フランス語のこの音変化から推理すると、元は呼びかけの「オイ」だったのでないかと思われるからです。また e は音が弱くなり単独ではほとんど音がありません。menu は「ムニュ」で madame は「マダーム」です。ただし後ろに子音があったり上にアクセント記号がつくと「エ」と読みます。dîner「ディネ」、café「カフェ」、mère「メール」です。

またフランス語には鼻母音（母音が鼻に抜ける）があります。日本語にも似たような現象に鼻濁音がありますがご存知ですか？ 鼻に抜けるために口の中が広くなるので、これも文字表記と発音が若干ずれます。im, in, eim, ein, aim, ain は「アン」に近い音に、em, en, am, an は「オン」に近い音になります。

最後にアクセントに関していうと、フランス語のアクセントは強弱アクセントで、その位置は素晴らしく簡単です。最後に発音する母音にアクセントがあります。これまであげた単語例のアクセントのある母音がゴシックで印刷してありますから確認してください。なぜこれほど

アクセントが簡単なのかというと、アクセントのある母音より後にある音は飲み込まれて消えてしまい、表記されなかったからなのです。

日本人にとって学びやすい点／学びにくい点

フランス語の発音は難しいと思われるかもしれませんが、そんなことはありません。フランス語には英語のような強いアクセントがありません。上でも説明したように、フランス語のアクセントは単語の最後に発音される母音にあり、とても簡単です。日本語に似て平坦な言葉なのです。ですから、真似るのは難しくありません。もちろんネイティブのような完璧な発音をするのは難しいでしょうが、習い始めてすぐでもあなたのフランス語はフランス人に通じるでしょう。

マスターするのが大変なのは、動詞の活用でしょう。動詞が主語によって変化するのは英語も同じですが、フランス語の場合はその変化の数がずっと多いのです。たとえば、「歌う」にあたる動詞 chanter ですが、次のように変化します。主語が「私」、「君」、「彼（彼女）」、「私たち」、「あなたたち」、「彼ら（彼女たち）」と変化するのに連動して chante, chantes, chante, chantons, chantez, chantent と 6 (5) つの形に変化します。実は、よく見ると語尾の形が異なりますね。でも、chantons と chantez を除くと他のすべての発音は同じで「シャントゥ」です。確かに全部覚えるのは大変ですが、大学ではそのうちの重要なものだけを学びます。

最近のトピック

理想的なワークライフバランス !?

フランスの法律で定められた1週間の労働時間は35時間。日本は40時間ですから、5時間も少ないことになります。さらに、一年間に5週間の有給休暇が与えられています。そして驚くべきことに、フランス人はこの休暇を文字通り「全て」消化します。

フランス人はプライベートを存分に楽しみ、家族とゆったり長期休暇を過ごします。帰宅する前、友人とカフェやブラスリーでお酒を飲みながら会話を楽しむこともあります。これを「アペリティフ」とよびます。それから家族と自宅で夕食をとります。長い休暇をお金をかけずに楽しむ術も知っています。田舎の祖父母の家に家族が集まり、ただのんびり一緒に過ごすのが、伝統的で最もオーソドックスな夏休みの過ごし方です。フランス人は、食卓に花を飾り、会話を楽しみながらゆっくりと食事をし、生活を楽しむことを大切に、毎日の暮らしが少しでも美しく喜びをもたらすものであるように心がけています。このような生き方は l'art de vivre à la française 「フランス流生活のアート」と呼ばれています。

でも、そんなにゆったり過ごして



パリのカフェ

いて経済の方は大丈夫でしょうか。しかし、心配するほどではないようです。一人当たりの名目 GDP では日本より上位なのですから。(2025 年の IMF 統計によれば、フランスは世界 27 位。日本は 38 位)。つまり、ダラダラと仕事をせず、メリハリのある働き方をしながら、成果も十分出していると言えるでしょう。

国民よりも多くの外国人観光客が訪れる国

フランスは、30 年以上観光客世界一の記録を保持し続けている観光大国です。2025 年には 1 億 2000 万人の外国人旅行者を迎えました。フランスの人口は 6800 万人ですから、人口の 2 倍近くの外国人がフランスを訪れていることになります。観光収入は、14 兆円を超えています (2025 年)。なぜそんなに多くの人々がフランスを訪れるのでしょうか。

まず、フランスの美しい自然は世界中の人々を魅了しています。夏は、地中海のビーチリゾート、冬にはアルプスにスキー客が押し寄せます。また、芸術の国であるフランスには、パリのルーブル美術館 (訪問者数世界一) をはじめとしてどこに行っても世界的に有名な美術館があり、ベルサイユ宮殿やモン・サンミッシェル修道院といった世界遺産が 37 ヶ所あります。さらには、ヨーロッパでも大人気のディーズニーランド・パリ。パリのディズニールランドのお城は、シンデレラ城ではなく、「眠れる森の美女」のお城です。「眠れる森の美女」は、フランス人ペローの童話がもとになっています。

そして何より、パリの街並みはどこも美しく、特別な時を過ごすのにはただセーヌ川のほとりを歩いているだけで十分なのです。そのため、パリは、多くの映画やドラマの舞台に選ばれています。



モン・サン＝ミッシェル

グローバル言語のつばさを広げて、世界へ飛び立とう！ 世界で一番話されている言語！

どこで話されていることば？

中国語はもちろんあの人口約14億人を誇るお隣の国、中国で話されていることばですが、話されているのは中国本土だけではありません。華僑と呼ばれる中国にルーツを持ち外国で暮らす人々が世界中にたくさんいて、各国で固有のコミュニティを築いています。日本では、横浜・神戸・長崎の中華街の他、近年では、新宿・池袋にも中国語を話す人々がコミュニティを築いています。しかし、ルーツとなる土地によって、話されることばにも違いが見られ、広い国土を有する中国ですから、その違いは日本語の方言の比ではありません。また、人口の9割以上を占める漢民族のほかに、チベット族、ウイグル族、朝鮮族、モンゴル族、ミャオ族など55の少数民族が存在し、それぞれ独自のことばをもっています。では、ルーツが異なればことばが通じないのかというと、そうではありません。公的機関やテレビ、ラジオ等で用いられる共通語（普通話）が設けられており、人々は学校教育で修得します。世界中に散らばる中国にルーツを持つ人々は共通語を用いて意思疎通を行っており、皆さんが学ぶのもこの共通語（普通話）です。

日本語とはどんな関係？

日本語を話す皆さんにとって、中国語で用いられる文字は身近なものです。日本は古くから中国と関りを持ち、いろいろなものを輸入しましたが、その最たるものが漢字です。現在中国で用いられているのは、簡体字といって、日本で用いられている漢字とは少し形が異なります。しかし、簡体字はいかにして効率よく共通語（普通話）を全国に普及させるかという一点から考案された漢字ですから、それほど覚えづらいものでもありません。日本語の漢字と大体の形や意味が共通しているものも多くあります。そのため、日本人にとって中国語は学びやすい言語とされています。

大事なのは発音！

しかし、ことばは文字だけで成り立ってはいません。文字と同じように音も重要です。特に、日本語話者はすでに漢字を知っているため、簡体字はすぐに覚えられますが、発音は苦労しがちです。それは、中国語（普通話）には日本語にはない音があり、また、日本語では区別しない音を区別するためです。いくつか難関ポイントを挙げれば、①母音の種類が多く、四声と呼ばれる4種類の音の高低・変化がある、②濁音がない代わりに、発音する際一気に息を強く吐き出す音（有気音といいます）と、そうではない音（無気音といいます）の区別がある、③舌をそらして発音する音が4種類ある、といった点です。これらの発音は日本語にはないため、始めは難しいかもしれません。しかし、日本語に「あ」と「お」の中間の音がないように、中国語にもそれぞれの音と音は区別されています。ですから、ネイティブスピーカーのような「上手な発音」ではなく、他の音と区別できる「正しい発音」が身に付けられればよいのです。日本語話者は漢字を知っているというアドバンテージがあるので、文字に

労力をかけず、発音に力を入れることができます。このアドバンテージを活かし、たくさん発音を練習していきましょう。

最近のトピック

ボーダーレスな時代

近年、日本に居ながらにして、中国語に触れる機会が以前より多くなってきたのではないのでしょうか。東京駅や大規模なデパートでは中国語のアナウンスを耳にするし、新宿や渋谷あたりをぶらりと歩けば中国語が飛び交っています。実は中国にいるのではないだろうかという錯覚を覚えることさえあります。この状況は上海でも同じで、上海の街並みを楽しんでいる時、特に「豫園」という上海の有名な観光名所では、中国語よりも日本語を耳にする時もあります。もう日中間には、ボーダーレスな時代が来ているのかもしれませんが。

電車の電子掲示版の中国語表示も増えてきています。例えば、多摩モノレール線なら、“感谢乘坐多摩单轨电车。本次列车开往上北台。”「本日は多摩モノレールをご利用くださいまして、ありがとうございます。この電車は上北台行きです」と表示されます。中国語表示が増えたのは2020年のオリンピックに向けた準備であると同時に、日中の経済活動の活発化も反映しているのだと思います。「爆買い」が新語・流行語大賞を受賞したことは中国でも話題となりました。中国人の豪快な買い物ぶりは、「バブル経済期の日本人を彷彿とさせる」とマスコミで評されています。日本政府は「2030年の訪日外国人数を6000万人」に増やす新目標を決めましたが、中国人観光客の占める割合は現在よりも高くなることが予想されます。さて、みなさんの学び舎である中央大学の緑豊かなキャンパスを歩けばあちらこちらに中国語表示があるのにお気づきでしょうか。例えば、商学部棟に行くと、“这里是5号馆1层。发生大型灾害时的避难场所是田径运动场。请保持镇定，注意安全，向避难场所转移。”「ここは5号館1階です。大規模な災害が発生した場合の避難場所は陸上競技場です。おちついて身の安全をはかり、避難場所へ移動してください。」という災害避難マップがあります。

ところで、“清真菜”「qīngzhēncài」という中国語を見て、漢字から推測しようと思っても、この単語の示す意味がいまひとつわからないのではないのでしょうか。“清真菜”はムスリム料理のことです。2016年4月から中央大学生協が、ムスリム（イスラム教徒）の方でも安心して食べられるようにハラール認証のカレーメニューを始めることになりました。ムスリム料理と聞いても、中国との関連性をイメージできないかもしれませんが、多民族国家である中国ではイスラム教の信者は少なくありません。例えば、中国最大のムスリム教徒集団“回族”はイスラム教を信仰するため、豚肉を食材に使わないムスリム料理を食べます。中国の街をはじめ大学の食堂にも、必ずムスリム料理を専門に取り扱う“清真菜館”（ムスリム食堂）というのがあります。現在のようなボーダーレスな時代では、中国人や中国的なことが日本社会に入ってくる傾向がますます強まることでしょう。

Facebook ページ「中央大学商学部中国語」にアクセス！

先輩たちの中国旅行や留学、ゼミや就活、仕事現場での活躍が見られます。



スペイン語を楽しく学んで世界に羽ばたこう!

¡Viva el español!

どこで話されていることば？

まずは簡単なクイズに答えてください。

- 1 スペイン語が公用語の国はいくつくらいありますか。
a. 15 b. 20 c. 25
- 2 スペイン語を母語として話している人々はどれくらいいますか。
a. 約1億人 b. 約3億5千人 c. 約4億8千人
- 3 英語の次に世界で最も学ばれている言語はどれですか。
a. 中国語 b. フランス語 c. スペイン語

実は、スペイン語はスペインの他に、アフリカ大陸で1ヶ国、アメリカ大陸やカリブ海の国々でも18カ国で公用語として話されています。さらに、アメリカ合衆国の自治領であるプエルトリコをはじめ、カリフォルニア州、フロリダ州、テキサス州などでも話されていて、現在、世界中で約4億8千万の人たちがスペイン語を話しているのです。また、スペイン語は英語、中国語、フランス語、ロシア語、アラビア語に並んで、国連の公用語の1つで、国際的にビジネスの世界やインターネット上で使われている言語としても近年つねに上位にランクインしています。



地図上の国旗が示してある国は、すべてスペイン語を公用語とする国です。あなたは、いくつかの国の名前がわかりますか？



答えはこちら



注：マップ上、国旗が示してある国は、スペイン語を公用語とする国。それ以外の地域は、国民のスペイン語話者が多い順（25%以上、10-20%、5-9%）に濃い色で表示してある。

日本語・英語とはどんな関係？

次の単語を見たことがありますか？ actor, capital, moral, doctor, color
おそらく意味もお分かりでしょう！ 実は、スペイン語でも全く同じつづりの単語を使います。ただ、発音はちょっと違っていて、ほぼローマ字読みをします。授業でしっかり確認しておきたいですね。

また、artista, universo, elefante, historia, economía といったスペイン語の単語は英語とつづりはちょっと違いますが、意味は想像がつくでしょう。このようにスペイン語と英語の間には全く同じか、よく似たつづりの単語が多く見られます。これには、スペイン語の元となったラテン語やラテン語から派生したフランス語から、まだ若かった頃の英語にいろいろな経路で単語が流れ込んだという歴史的背景があります。

日本の社会には思いの外、スペイン語の単語が入ってきています。例えば、諸説ありますが、日本料理の代表「天ぷら」はスペイン語が元になったことばだと言われています。また、スペイン語で「タバコ (tabaco)」と言われる嗜好品が日本にもありますね。他にも「ナタデココ (nata de coco)」、「アルマジロ (armadillo)」、「エルニーニョ (El Niño) 現象」や車の

名前「バモス (vamos)」、「モコ (moco)」、「シエンタ (sienta)」、サッカーチームの名前「アルディージャ (ardilla リス)」、「レイソル (rey 王+ sol 太陽)」、「アビスパ (avispa 蜂)」などたくさんあります。このように私たちは普段からスペイン語の音に取り囲まれているのです。

音と文字

スペイン語の文字はアルファベット 27 文字です。英語と同じアルファベット 26 文字にスペイン語の特殊文字「Ñ」（エニェ）が追加されたものになります。この章のタイトルにもありますが、ñ はスペイン語で「スペイン語」を意味する español という単語にも現れましたね。

突然ですが、スペイン語圏で親しみのある Ñ の物語を紹介させてください。双子の N 1 ちゃんと N 2 ちゃんは、山の M さんの子どもです。ある日子供たちだけで森に入ると、家はとても遠くなり、暗くなってしまいました。お姉さんの N 1 は少し不安になり、妹の N 2 はお母さんがいないのでとても悲しく、怖くなりました。そこへ一匹の蝶が現れ、家へ帰るのを助けてくれました。その日から、その蝶はいつも N 2 と一緒にいるのです。そしていつの間にか Ñ の上の線となりましたとさ。



さて、スペイン語は大体ローマ字読みが原則です。最初の 1 回～2 回くらいの授業で発音の仕組みは分かっています。スペイン語の発音のしやすさは、①文字を見ればアクセントがどこにあるか一目瞭然、②文字と発音がほぼ 1 対 1 で対応している、③ローマ字読みである、という点でしょう。

日本人にとって学びやすい点／学びにくい点

スペイン語の学びやすさのひとつは発音のしやすさにあります。とりわけ私たち日本人にとって有利なのは、母音が日本語と同じ数で同じ音である、という点です。ですから「アの口をしてオ」とか「オの口をしてエ」のような母音はありません。だからカタカナで書かれたスペイン語だって、英語を発音する時のように口をこわばらせることなく、日本語を発音する感覚で発音してもほとんど通じます。

あと「響き」は日本語っぽいけど、実はスペイン語で、しかも意味が全く違う語、「空耳スペイン語」を探すのも日本人ならではの楽しみのひとつ。例えば、「馬鹿 (vaca)」、「アホ (ajo)」、「食べるな (taberna)」、「駄目 (Dame) !」は「空耳スペイン語」で、それぞれ「牛」、「にんにく」、「居酒屋」、「ちょうだい!」という意味になります。

これまでスペイン語の発音はしやすいと言ってきましたが、実は日本人に苦手な音がひとつあります。それは「巻き舌」です。ただ、巻き舌ができなくても、スペイン語は通じますので、あまり心配する必要はありません。

あとスペイン語の動詞はかなり活用します。しかし、動詞の活用がしっかりしていると、例えば、英語の set が時に動詞、時に名詞、時に形容詞、そして時に現在だったり過去だったり

過去分詞だったり、という曖昧なところがないということでもあるのです。

スペイン語豆知識

- スペイン語はスペインとアメリカ大陸とアフリカの赤道ギニア共和国という広大な地域で話されている言語です。それぞれの地域に固有の特徴がありますが、発音・語彙・文法については比較的均一でコミュニケーションには問題ありません。
- スペイン語には日本語や英語にはないルールの一つに、「男性名詞」「女性名詞」のような名詞の性別があります。男性名詞は padre（お父さん）などの男性に関連する名詞や -o で終わる単語、女性名詞は madre（お母さん）などの女性に関連する名詞や -a で終わる単語のように、主に名詞の意味や語尾によって名詞の性別を区別します。
- スペイン語の語順は、基本的には「主語」＋「動詞」＋「目的語や補語」となっています。ところが、SVO や SVC のように順番が固定されている英語に比べて、スペイン語には語順を並び変えても意味が通じやすいという特徴があります。

最近のトピック

スマホの電池はどこから来るのだろう？

みなさんは毎日スマートフォンを使っていると思います。友人との連絡、動画視聴、SNS、調べものなど、今やスマホは生活に欠かせない存在です。そのスマホの電池には、リチウムという金属が使われています。リチウムは電気自動車や蓄電池にも必要なため、近年、世界中で需要が急速に高まっています。

世界有数のリチウム資源は、南米のアルゼンチン、チリ、ボリビアに広がる「リチウム三角地帯」に存在します。脱炭素社会の実現に向けて、各国政府や企業はこの地域に大きな関心を寄せています。ニュースでは、「リチウム争奪戦」や「資源獲得競争」といった言葉を目にすることもあるかもしれません。

しかし、ここで少し立ち止まって考えてみましょう。リチウムが採れる土地には、もともと誰が暮らしているのでしょうか。

実は、南米でリチウム資源が存在する地域には、古くから先住民のコミュニティが暮らしています。そこでは、塩湖や地下水が生活や牧畜、農業と深く結びついています。そのため、リチウム開発をめぐるのは、水資源への影響や土地利用について議論が行われています。一方で、雇用の創出や地域経済の発展を期待し、開発を支持する人々もいます。地域社会の中でも意見が一つとは限りません。この問題に単純な正解はないのです。気候変動対策のためには電気自動車の普及が重要だと言われています。しかし、その電池の原料を採掘する現場では、環境保全や地域住民の権利との調整が求められているのです。

商学部で学ぶことは、企業の利益や市場の仕組みを理解することだけではありません。経済活動が社会や環境とどのようにつながっているのかを考えることでもあります。スペイン語圏の国々を学ぶことは、遠い外国について知るだけでなく、実は私たちの日常生活と世界とのつながりを考えることなのです。私たちが毎日使うスマホの向こう側には、どのような人々の暮らしがあるのでしょうか。大学での学びを通して、その問いへの答えを一緒に探してみませんか。

어서오세요! 一緒に朝鮮／韓国語を学びましょう!

どこで話されていることば?

朝鮮語は、“朝鮮”という名から類推できるように、北では「朝鮮語」、南では「韓国語」と呼ばれ、おもに朝鮮半島に住む人々の母語として話されていることばで、母語話者の人口は、世界で17位です(2026年 Ethnologue 統計)。母語話者の他に、昨今の韓流ブームで世界的にここ数年利用者が広まっています。韓国政府による韓国語教育機関である「世宗学堂」は、現在87カ国、252箇所韓国語教育を展開しています。また、2018年にインドの中・高で、2020年にロシアの5年生以上から、2021年にブラジルの小中高で、それぞれ第二外国語として採択されるなど、諸外国の教育機関でも学習人口を伸ばしていることばです。授業では、「ソウル標準語」を学習していきます。

日本語・英語とはどんな関係?

朝鮮語は、言語学的にはアルタイ諸語、特にツングース語と深い親縁関係であるといわれています。また、同時に日本語と類似性も多く指摘されています。どちらもあくまでも親縁関係であって、朝鮮語は、その系統がまだはっきりとわかっていないことばです。ただ、言語学的には日本語と同様に英語とは距離のあることばです。

しかし、昨今の韓国における英語教育熱は日本の比ではありません。現在の韓国は、“国家戦略で「英語漬け」と紹介されるほどです。1997年から小学校3年生の必修教科目に英語が入り、TOEICの点数が就職を大きく左右します。街の語学学校も盛況ですが、それだけでなくアメリカ、カナダ、フィリピン、シンガポールなど英語圏へ子どもの教育を目的とした移民も増えています。こうした韓国における英語熱の過熱は、1994年の世界貿易機構の加入に伴い、国策として『世界化』政策がはじまり、その後1997年の「IMF危機」と呼ばれる経済危機を通じて、外資系企業の進出が進んだことによるという指摘がされています。

近年、IT革命などにより新しい外来語が増えていますが、それら外来語は音訳されるほか、漢字語や固有語、外来語+固有語に置き換えられて日用されている場合が、日本語より多々見られます。たとえば、「ネット族」は「네띠즌」(“netizen”)のほかに「누리꾼」(固有語)という語も使われ、パソコン上の「消去」は「지우기」(“消すこと”固有語)、「ヘルプ」は「도움말」(“お助けことば”固有語)、「ドキュメント」は「문서」(“文書”漢字語)、「システムダウン」は「시스템 종료」(“システム終了”外来語+漢字語)といった感じです。

ただ、最近の韓国では、外来語をできるだけ固有語または漢字語に、これまでよく使用してきたことばに訳そうという傾向もあります。たとえば、「携帯電話」は「손전화」(手電話)や「単語」は「낱말」(個々のことば)のように。外来語を固有語に近い表現に訳して使用する傾向は、韓国よりも共和国がより進んでいます。韓国では、固有語を知りたければ、北の国語に学べともいわれるほどです。

音と文字

みなさんが日頃よく目にしている朝鮮語の文字「ハングル」は時代の要求に乗って発明されたものです。それまで朝鮮半島に住む人々は、ことばはあっても、そのことばを表す文字を

持っていませんでした。実は、朝鮮王朝時代に入り、ようやく朝鮮語の音に文字が作られました。第4代目の王、世宗大王が、民が文字を読み書きできない状況を不憫に思い、学者を集めて、だれでも簡単に学べて読み書きできる文字を作ったのです。これが1443年に制定され、1446年に公布された『訓民正音』です。しかし発明当初、貴族や官僚、官員などの支配者層は、公式文書や日常の文書記録で漢文を使用していて、「訓民正音」の文字を利用することに強く反対しました。漢字漢文は「文」と呼ばれ、「訓民正音」は「^{オンムン}諺文」と卑称されていたのです。現在のような「ハングル（偉大なことば）」と呼ばれるようになったのは、20世紀に入ってからです。近代の朝鮮語研究の先駆者である周時経（1876-1914）が名付けたといわれています。彼は、日本の植民地下で、独立協会という運動団体に属し、朝鮮で初のハングル新聞である『独立新聞』の表記を統括し、現在のハングル正書法の基礎を作った人物です。15世紀に発明されて以来、上流階級により卑下された朝鮮語の文字は、20世紀の民族の危機的な状況の中で、自分たちのことばの文字として再発見されたのでした。ちなみに、現在南では「訓民正音」の頒布日である10月9日が、北では創製である1月15日がそれぞれハングルの記念日となっています。

朝鮮語の基本的な文字は、口の形やのどの形を模った14個の基本子音字と5個の合成子音字、天(・)、地(□)、人(丨)を組み合わせた10個の基本母音字と11個の合成母音字があり、これら子音字と母音字を組み合わせで作られています。朝鮮語の文字はローマ字と同様に単音文字ですが、ただローマ字のように単独で用いるのではなく、実際には音節ごとにまとめて音節文字として表現されます。この場合、子音+母音、子音+母音+子音の二つの形があります。たとえば、**ㅅ** [s] + **ㅏ** [a] = **ㅏㅏ** [sa]、**ㅇ** [ŋ] + **ㅏ** [a] + **ㅇ** [ng] = **랑** [lang] で **사랑** [salang] (愛) というように言葉を作っていきます。



「訓民正音」文字、国立ハングル博物館

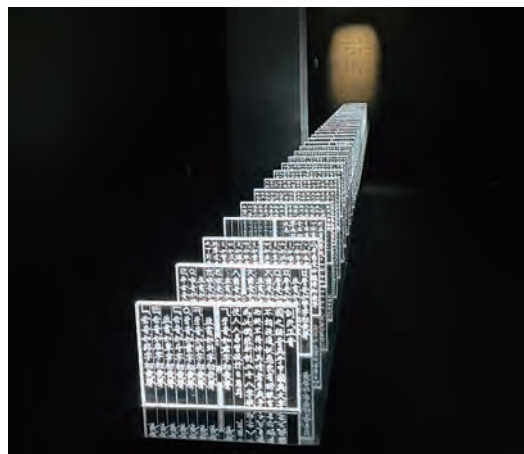
日本人にとって学びやすい点／学びにくい点

朝鮮語は、日本語と一番近い関係にあることばです。よって、ほかの言語にくらべ多くの点で日本語学習者にはとても学びやすいことばです。

まず、文法が似ているだけでなく、同じ漢字文化圏に属するため、中国大陆から渡ってきた多くの漢字語が語彙に含まれます。特に漢音から派生したことばの多くはその音も似ています。たとえば、「運動」は、「ウンドン」と発音し、「お茶」は「チャ」と言います。また、朝



光化門路にある世宗大王



『訓民正音解例本』 国立ハングル博物館

鮮語の漢字の音は、一漢字一音で作られています。たとえば、会は「^{フエ}회」、社は「^サ사」、員は「^{ウオン}원」とそれぞれ一音で発音されます。この3文字で、「^{フエ}회사원」(会社員)、「^サ사원」(社員)、「^{フエ}회원」(会員)、「^サ사회」(社会)といった複数の熟語がつかれるように、漢字音を覚えると簡単に語彙を増やすことができます。

日本語学習者が、朝鮮語を学ぶ時に一番苦労するのが発音です。文字もまったく新しい字を学ぶのですが、これは「訓民正音」を作った世宗が言ったとおりに、誰でも学びやすいように規則性があり、それほど苦はありません。ただ、発音の習得はそうたやすいものではありません。日本語にない音があるからです。英語と違って子音群ではじまる語がありませんが、子音で終わる音節(終声)や語中に子音が2つ続くことがあり、日本語よりも語形が少々複雑です。また、母音が日本語よりも多く、ちょっと大変です。たとえば日本語の「ウ」にあたる母音が、朝鮮語では、口をすぼめて発音する「ウ」と口角を横に引いて発音する「ウ」と2種類区別します。子音では、破裂音・破擦音のほかに、日本語の清音・濁音とは違う、平音・激音・濃音という区別があります。

文法的にもとても似ている言語ですが、あくまでも“似ている”だけなので、逆に違いがやっかになります。たとえば、日本語と同じように尊敬形がありますが、日本語の尊敬形が相対敬語に対して、朝鮮語の尊敬形は絶対敬語です。よって、自分の両親や身内についても、同じ会社の上司のことを他社の社員に話す時も、「部長様」や「いらっしゃいません」といったように、必ず敬語を用います。この他、表現でも違いが多少あります。日本語では、「雨が上がった」という表現がありますが、朝鮮語で「雨」は「上がり」ません。「止む」だけです。このように直訳できない文もあると記憶しておいてください。

朝鮮語豆知識

日本人の苗字は約30万以上といわれていますが、朝鮮人の姓は286種しかありません(韓国の「2000年人口住宅総調査」より)。中でも、韓国内の3大姓と呼ばれる金(21.6%)、李(14.8%)、朴(8.5%)だけで実に韓国の総人口の半分近く(44.9%)を占めてしまいます。そこで「ソウルの南山から石を投げると、金さん・李さん・朴さんの誰かにあたる」という冗談があるほどです。こうした姓氏は、主に10世紀ごろに中国の宗族制度に倣って高麗時代の貴族、豪族の中で使われはじめ、20世紀になって全国レベルで一般化されました。姓は、中国風に漢字1字が主ですが、「南宮」「諸葛」「皇甫」「司空」など2字の姓も8つあります。

数として少ない姓氏ですが、この姓氏と合わせて「始祖の発祥地」を意味する本貫が使用されています。たとえば、3大姓の一位である金氏をみると、136の本貫があります。始祖が金海出身なら「金海金氏」といったように、姓氏と本貫がワンセットになっているのです。さらにこの金海金氏のなかで、始祖から分岐する分派が生まれ、現在100以上の派が確認されています。この同姓同本(同じ姓氏の同じ本貫)が、大きな親族組織である門中組織を形成しています。2005年の民法改正まで韓国では同姓同本間の婚姻は、近親相姦として、民法上禁止されていました。今日、8親等まで婚姻は禁止されていて、9親等からの同姓同本同士の婚姻が許されています。

韓国人の名前の付け方には、日本語と同様に流行があります。1945年あたりは、男子は長寿を願って「永」の字が好まれ、女子は日本語の影響と将来男子を生むことを願って「子」の字が好まれたといわれます。最近の傾向としては漢字に置き換えられない固有名詞や、男女区別がつかない中性的な名前が人気のようです。子どもの名付けにおいて、日本と違う点は、同族の同世代で一字を、または同じ偏を共通して使う付け方があります。なので、日本のように両親の名前から一字取って、子どもに付けるということはありません。また、生まれた年月日時間の干支を占い、名を付けることも多くあります。『82年生まれキムジョン』という小説が

ありますが、80年代占いで女性の名前に“ジョン”という名が多くつけられました。よって、この小説の主人公が家庭で、社会で女性であることで受ける苦境が、多くの女性から共感を得てベストセラーになりました。

最近のトピック

終着駅か？始発駅か？ ～「都羅山駅（도라산역；トラサンヨク）」～

朝鮮半島を縦断している鉄道が「京義線（경의선；キョンウィソン）」と「京釜線（경부선；キョンブソン）」です。京義線は、ソウル（서울）の隣駅である龍山（용산；ヨンサン）駅から新義州（신의주；シニジュ）駅まで、京釜線はソウル駅から釜山（부산；プサン）駅までを走ります。解放後、朝鮮戦争により半島が分断されると、京義線の路線は、南は文山（문산；ムンサン）駅から長湍（장단；チャンダン）駅まで12km、北は長湍駅から鳳東（봉동；ボンドン）駅までの8km区間が断絶されたまま、南北でそれぞれ運行されました。

その後2000年の南北首脳会談で京義線の復元が合意され、2003年に軍事分界線で連結式が行われました。その再連結にあたり、文山駅と南北分界線の間に3つ駅が作られました。その中で分界線に一番近いのが「都羅山駅」です。京畿道坡州市（경기도파주시；キョンギドパジュシ）にあるこの駅は、民間人出入統制区域（CCZ）内、非武装地帯（DMZ）の南方境界線から676mの距離にあります。つまり一般民間人は自由に行き来できる地域ではありません。開通当初は、「開城工業団地事業」を見据えて、主に貨物列車利用に考えられていましたが、実際に利用されたのは2007年の約1年間だけでした。ただ路線が復元されたことにより、朝鮮半島を縦断するTKRは、シベリア横断鉄道（TSR）、中国横断鉄道（TCR）、モンゴル横断鉄道（TMGR）、満州横断鉄道（TMR）とそれぞれ繋がり、いわゆる「アジア横断鉄道」の一区間となり、釜山駅からの線路は、アジア大陸、ヨーロッパ大陸へと広がっています。しかし、どこであっても基本的には鉄道は国家の統制下にあり、政治情勢によって、線路は開かれたり、閉じられたりします。都羅山駅は、2014年からはじまった「DMZ-train（平和列車）」というツアーで民間人も行くことはできましたが、南北間で緊張が高まる事件が起きるたびにツアーが中断されて入ることができませんでした。2019年以降は諸事情でツアーが全面中断し、2022年に都羅山駅を外して再開されます。現在は「DMZ 평화이음열차（平和を繋げる列車）」としてソウル駅から都羅山駅までの観光列車が毎週金曜日に運行しています。

都羅山駅構内に入ると、正面に「평양방면（平壤方面）」とあり、その右側に以下のような駅の標語が書かれてあります。

「남쪽의 마지막 역이 아니라 북쪽으로 가는 첫 번째 역입니다（南の最後の駅ではなく北に向かう最初の駅です）」

いつか“最後の駅”、“最初の駅”ではなく、ただの“中間の駅”になる日が来ればと思います。もし、韓国に行く機会がありましたら、板門店ツアーもいいですが、「DMZ-train（平和列車）」もいってみてください。都羅山シャトル列車に乗って“終点”の都羅山駅で下車してホームに立つと、そこにある線路は、分界線を越え、国境を越え、アジア、ヨーロッパ大陸へと繋がっています。



Здравствуйте! こんにちは!

楽しく学ぶロシア語

どこで話されている言葉？

ロシア語が使われている国はロシアだけではありません。ロシアは30数年前まで、ソビエト連邦という巨大な連邦国家の中心でした。ソ連には、ロシアの他にベラルーシやウクライナ、北のバルト3国（ラトビア、エストニア、リトアニア）、中央アジアの5か国（カザフスタン、ウズベキスタン、タジキスタン、トルクメニスタン、キルギス）、さらに南のジョージア、アゼルバイジャン、モルドバ、アルメニアが含まれていました。これらの国々におけるロシア語の使用状況は、歴史的背景や政治情勢によって異なりますが、今でも、ロシア人が居住し、ロシア語が日常的に話されている国があります。ベラルーシやカザフスタンなどのように、自国の民族語とともに、ロシア語を公用語としている国もあります。多民族国家であるロシア連邦に住む約1億4000万の人々の他にも、主要言語あるいは第2、第3言語としてロシア語を用いている人の数は相当数にのぼると言えるでしょう。

日本語・英語とはどんな関係？

ロシア語は、スラブ語派というインド・ヨーロッパ語族の中でも大きなグループに属し、ベラルーシ語やウクライナ語とは特に近い関係にあります。ポーランド語やチェコ語もスラブ語派の一員ですが、これらの言語では英語と同じラテン文字が使われています。ロシア語の文字は独特な形を持ち、日本でも絵文字として使われることがあります。同じスラブ語なのにどうして文字が違うのでしょうか？それは、キリスト教の受容のあり方と深く関わっています。ロシア語の文字はギリシア正教の学僧キュリロス（ロシア語名ではキリル）がスラブ人の間に東方教会のキリスト教を普及させるために、スラブ人の発音に合わせて考案した文字がもとになっています。これがのちにキリル文字として、ロシアをはじめ正教を受け入れた国々で発達をとげました。

一方スラブ語派の国であっても、西方教会のキリスト教を受け入れた国々ではラテン文字が用いられることとなり、両者は別の文化圏に属し、時として対立する関係になることもありました。キリル文字については次の項で詳しく解説します。じつは、ラテン文字もギリシア文字がもとになっていますので、ロシア語には英語と共通のラテン文字も含まれています。英語はロシア語と同じくインド・ヨーロッパ語族に属していますが、キリル文字を用いるロシア語とはかなりかけ離れた言語に見えるのです。

単語をいくつか比較してみましょう。例えば、大学、学生、学校を意味する単語は英語と同じ起源を持ちますが、university = университет（ユニヴェルシチェート）、student = студент（ストウジェーント）、school = школа（シュコーラ）のように響きが全く違います。ラジオやコンピューター、コーヒー、テニスのような新しい外来語はрадио（ラーヂオ）、компьютер（カムピューテル）、кофе（コーフェ）、теннис（テーニス）となり、これらは日本語でもすぐわかりますね。

さて、そんなロシア語ですが、実は私たちの周りにもロシア語由来の言葉が結構あります。例えば、「イクラ」はロシア語で「魚卵」を意味する **икра** (イクラー) から来ています。また、女性が髪に着ける「カチューシャ (катюша)」もロシア語が語源で、元々は「エカチェリーナ」という女性の名前の愛称です。この他にも、「寄付」を意味する「カンパ」や「秘密基地」を意味する「アジト」、「知識階級」を意味する「インテリ」などがあります。

音と文字

ロシア語のアルファベットには33の文字があります。そのうち2つは音を表さない記号です。

次の10文字は母音を表します。**а** (アー), **ы** (ウィー), **у** (ウー), **э** (エー), **о** (オー); **я** (ヤー), **и** (イー), **ю** (ユー), **е** (イエー), **ё** (ヨー)

カタカナで記した音を見てください。8個の母音は日本語のア、イ、ウ、エ、オ、ヤ、ユ、ヨとよく似ています。実際少し強めに発音するだけでOKです。**ы** (ウィ) と **е** (イエ) だけは新たに覚える必要があります。さらに21の子音があり、そのうち12の子音は6通りのペアを成しています。

б (ブ), **в** (ヴ), **г** (グ), **д** (ドゥ), **ж** (ジュ), **з** (ズ)
п (プ), **ф** (フ), **к** (ク), **т** (トゥ), **ш** (シュ), **с** (ス)

詳しくは授業で解説しますが、これらは口の形が同じで、上の音は有声子音 (濁音)、下の音は無声子音といって空気が抜けている音です。

残りの9の子音は次の文字と音です。

л (ル), **м** (ム), **н** (ヌ), **й** (イ), **р** (ル), **х** (フ), **ц** (ツ), **ч** (チ), **щ** (シィ)

すぐ前の項でもお話ししたようにスラブ人の発音に文字をあてていったわけですから、これらの文字はロシア語の音を表すのにとても合理的にできています。

先ほど例に挙げた 英語の **school** はつづりを覚えなければ読めませんが、ロシア語の **школа** は、シュ+コ+ラとローマ字を読む要領で読んでいくことができます (日本語では子音だけの音は「ん」くらいですが、ロシア語には多々あります。子音の読み方は上記のままです)。また母音を含む単語には必ず一か所アクセントがありますので、そこをやや伸ばして発音します。地図は **карта** = カールタ、本は **книга** = クニーガ、鉛筆なら **карандаш** = カランダーシュ、という具合です。ニャ、ニュ、ニョのような音も2文字で書くことができます。**няня** = ニャーニャ (保育士)、**мяч** = ミャーチ (ボール)、**Таня** = ターニャ (女性の名) というように。アルファベットの数こそ33個と英語より多めですが、31種類の音とちょっとした記号の使い方、それにいくつかの音の規則さえ覚えれば読むことができます。はじめて見るロシア文字に「難しそう」と感じる人も多いようですが、誰でもすぐに拾い読みができるようになるので、見かけほど難しくありません。ただ、**Р** や **Н** のように英語と共通の文字を使いながら、ロシア語ではそれぞれ、ル、ンと発音しなければならないなど、紛らわしい面もあります。とくに **Р** はルルル〜と舌を震わせる、いわゆる巻き舌です。中にははじめから上手な人もいますが、不得意な人も練習で

かなり出せるようになります。ロシア人の子供だって31音中これが1番難しいとされ、一生懸命練習して習得しているのですから、すぐにできなくてもあきらめる必要はまったくありません。

ちなみにモンゴルでは表記のために文字だけロシア文字を使用しています。伝統的なモンゴル固有の文字がとても難しいので、友好国であったロシアのアルファベットを借用したのですね。

日本人にとって学びやすい点／学びにくい点

すでに見てきたように、馴染みのない文字があるわりには、ローマ字読みに慣れている日本人には、一字一音対応が徹底しているので読みやすいことがあげられるでしょう。ただし、アクセントの位置は単語によってばらばらなので、単語を覚えるときは意味を確認するだけではなく、どこにアクセントがあるかチェックする必要があります。そのためには黙読するのではなく、かならず声に出してみる習慣をつけましょう。

それからロシア語には名詞一語文というのがあって、「春です」は Весна. (ヴェスナー＝春) と一語でりっぱな文になります。「寒いです」も Холодно. (ホーラドゥナ＝寒い) とやはり一語で表現します (*アクセントのない О はアーと発音します)。英語なら It's cold. となるところですが、自然現象などには主語を入れない言い方をするのがふつうなのです。こんなところも日本語の感覚からすると親近感がわくような気がしませんか。

またロシアはあれほど広大な国であるにもかかわらず、方言の差がほとんどありません。

大学で勉強するのはモスクワの中部方言ですが、北部・南部方言とも大きな違いはないのです。

大変な点は語尾変化を身に付けなければならないということでしょう。名詞には男性、女性、中性と3つの性の区別があり、さらに単数、複数の区別がありますが、実はもうひとつ、格変化というのがあります。

(1a) ^{ヤー ストゥージェーントウ} Я студент. (Я = 私は／ студент = 学生です)

(1b) ^{ヤー ズナーユ ストゥージェーнта} Я знаю студента. (Я = 私は／ знаю = 知っている／ студента = 学生を)

「私はその学生を知っている」と言うときは (1b) のように学生という単語の語尾にひとつだけ а をつけて「学生を」と表現します。これが格変化です。ちょうど日本語で「を」という助詞をくっつけるのと似ています。

ロシア語豆知識

日本ではロシア人の名前というと「イワン」が有名ですが、実際ロシアにはイワンがたくさんいます。歴史上もイワン大帝とかイワン雷帝などが有名ですね。ロシア正教が国教であった革命前まで (あるいはそれ以後も)、ロシア人は子供が生まれると教会の聖者の名を記した暦からわが子の名前をつけていました。教会暦には一日に数名の男女の聖人の名が記されているのですが、イワン聖人は170回も登場するので、イワンがふえてしまったのです。ロシア人の名前にあまりバリエーションがないのもこのためです。

ロシアの小説を読んでいて、長い名前が出てきたり、呼び方が変わってしまったりしてとま

どったことはありませんか。ドストエフスキーの代表作『カラマーゾフの兄弟』にはドミートリー、イワン、アレクセイという3人の兄弟が出てきますが、親しい人はドミートリーをミーチャ、アレクセイはアリョーシャというように愛称で呼ぶのが普通です。一方、あらたまった場合や敬愛をこめる場合は、イワン・フョードロビッチのように呼びかけます。フョードロビッチは苗字ではなくて父親フョードルの名前からきた父称というもので名前の後ろにつけられます。つまりロシア人の正式な名前は、名前・父称・苗字（例＝イワン・フョードロビッチ・カラマーゾフ）という構成になっているのです。

苗字は名前に比べると多様性があります。スミルノフ、イワノフ、クズネツォフなど古くからある伝統的な名前も存在する一方、新しく作られた苗字もたくさんあります。文学はそうした苗字の宝庫で、作家が発明した姓であふれています。すぐ上で取り上げたカラマーゾフも「黒」と「塗る」という意味のロシア語からドストエフスキーが考え出したといわれています。

最近のトピック

注目される北極海航路

近年、ロシア政府が力を入れている経済政策の一つに北極海航路の活用があります。地球の温暖化が、氷に閉ざされた北極海の航行をより容易なものに変えるという皮肉な結果をもたらしました。将来、東アジアとヨーロッパ間の海上物流がより増大した場合、現在の主要ルートであるスエズ運河航路のキャパシティが限界を迎える可能性もあることから、日本にとっても決して無関係ではありません。そもそもこの新たな航路はスエズ運河航路に比べて34%も距離を節約でき、マラッカ海峡などスエズ運河が抱える航路上の難所も少なく、様々な点で有利だと言われています。事業はまだ始まったばかりで、整備すべき点も多々あるようですが、商業輸送は2009年から始まっています。ロシアは今後を見すえて、スエズ運河の代替ルートとしての活用のみならず、北極圏の石油・天然ガス輸送にも利用したいと考えているようです。北極海の氷が減少してホッキョクグマたちが行き場を失うという悲しい現実もある一方で、ビジネスも着々と進行中なのです。



原子力砕氷船ヤマル号

ようこそ日本へ。そして中央大学へ。

「外国である、日本の大学に入る」というのは、まさに人生におけるとっても大きな変化の渦の中に飛び込んでいく状態です。期待でワクワクしている人もいれば、不安がジワジワわいてきていたりしているかもしれません。でも、自ら変化の中に飛び込むそのチャレンジ精神こそが、今後あなたの将来を切り開いていきます。

大学で必要な日本語力

さて、あなたの日本語は今どのくらいのレベルですか？ 既にペラペラで日本人とも臆することなく議論ができ、大学でレポート提出の課題が出ても、躊躇なく取り組みますか？ 「もちろん大丈夫」という人もいれば、「それはまだまだ大変…」という人もいることでしょう。大学のキャンパスでは、友達と話す日常会話レベルの日本語、そして、アカデミックな日本語、どちらも必要です。この、アカデミックな日本語にまだ心配がある人も多いのだらうと思います。

中央大学には2種類の日本語クラスがあります。一つは正規学部留学生に対しての全学共通カリキュラムの日本語クラスです。もう一つは短期留学生対象の日本語クラスです。

以下では1つ目の正規学部留学生に対しての日本語クラスについてもう少し詳しく紹介します。このクラスは、大学での学びに必須なアカデミックスキルを習得することが目的です。読解・聴解・文章表現の授業が開講されており、入学時の日本語力に応じて、週2回、または4回の日本語クラスを必修科目として履修します。アカデミックスキルとは、授業で討論を行ったり、リサーチをしてそれを口頭で発表したりするときに必要なスキルで、その時に使う日本語がアカデミックジャパニーズと言われるものです。

また大学では、「レポート」という名の宿題がかなり頻繁に出されます。中間テストや期末テストの代わりにこの「レポート」が課される授業も少なくありません。卒業時に論文を書かなくてはならないゼミナールもあります。レポートや論文で使うのも、このアカデミックジャパニーズです。

では「レポート」や「論文」を書くためには、特別な日本語力が必要でしょうか。つまり今のあなたの日本語力では、まったく歯がたたないでしょうか。

そうではありません。今のあなたの持っている日本語を、大学仕様に直せばいいのです。つまり今まで「感想文」や「小論文」として書いてきた作文を、「大学レベルのレポート」にするためにはどうすれば良いかということです。これには、実は「コツ」があります。

また今までに、日常的なトピックでの短い発表を経験してきた人も少なくはないでしょう。さて、これを大学レベルの「調査発表」にするにはどうすれば良いでしょうか。これにも「コ

ツ」があります。

ところでレポートを書くためには、まず資料を読まなくてはなりません。資料を読み進める時に、どこに目をつけて読むか、何を考えながら読むか、どんなことを探しながら読むか等、つまり読む時にもコツがあります。「(レポートが書けるように) 読むためのコツ」です。主体的に・批判的に・分析的に読んでいきます。これがクリティカル・リーディングという読み方です。

日本語のクラスでは、これらの「コツ」を紹介します。「コツ」は学ぶことができます。そしてコツを学べば、外国人である留学生でも、日本の大学で充分、本来の力を発揮できます。中央大学商学部の日本語クラスでは今までに学んだ日本語を「大学仕様に変換するコツ」を紹介していきます。それと同時に今日まで養ってきた日本語力をさらに洗練していきます。専門の授業で読む専門書が適当な速さで読める読解力、講義が聞き取れる聴解力、授業でディスカッションをしたりプレゼンテーションをしたりする口頭力、レポートや論文が執筆できる文章力を育成していきます。これらの力は大学を卒業して社会に出た時に求められる能力でもあります。

学部生対象の日本語授業の特徴

中央大学の日本語教育の先生は、実に多彩な授業を展開しています。それぞれの専門を生かして授業を作り上げていくため、個性あふれる授業を行っています。そして授業を活性化するための工夫をいたるところに織り込んでいます。

1) 多種多様な内容

専門の勉強を進める上での知識となるもの、専門の勉強では出会えないものなど、多種多様なものが教材として使用されています。

読解の授業では、アカデミックに書くため、また話すために論理的な思考が展開できる練習や資料を深く読み解く練習を行います。手に入れた資料を全て鵜呑みにしても良いのか、情報のコントロールが行われていないか、客観的に資料を読み解くにはどのように読んでいけば良いのか、つまり、メディア・リテラシーの力も育成する練習を行っている先生もいます。日本の歴史、アジアの歴史を紹介・整理していく先生もいます。新聞を深く読み込む授業を展開する先生もいます。文学を扱う先生もいます。

リスニングの授業でも、ニュース・講義・ドキュメンタリー・ドラマ・映画など様々なものが教材として使われています。専門的な内容のもの、最新の情報のもの、考えさせられるもの、感動させられるものなどその内容も様々です。

2) 技能の連携

例えば、読解のクラスといっても読んで終わりの授業ではありません。読んだものを自分の中に取り込み、疑問・意見を形成し、発信し、クラスメートと意見を交換することで、一人で読むより理解を深めます。文章表現、つまり作文のクラスにおいても同様です。書いた

ものをもとに口頭での共有やディスカッションまで広がります。読んで話す、書いて話す、聞いて話す、話して書く、というように、1つの技能を他の技能と連携させて授業は進んでいきます。先生方は巧みに皆を授業に巻き込んでいきますので、隣の人の陰に隠れていることはできない授業です。クラス全体で話す時間、ペアで話す時間、グループで話す時間というように、様々な活動形態が取られます。日本人のたくさんいる授業では躊躇してしまう学生も、日本語の授業では活発にディスカッションに加わります。また学期の始めは静かだった学生も、だんだん積極的に参加していくようになっていきます。どうしてでしょう？授業の構成、教材の選び方、ディスカッションの形態、メンバーの選び方など、あらゆるところに参加を促す工夫と仕掛けがあるからです。

3) 教材の選び方

日本語の授業の教材には、コミュニケーションが生まれやすいもの、日本社会・日本人・日本文化に関したものが多く選ばれます。つまり日本語の授業は、単なる言葉の授業ではないのです。日本語の授業に参加することで、日本社会・日本人・日本文化への自分なりの理解を深めていくことになります。日本語の授業を通して様々な知識を広げ、一般教養をつけていくわけです。また語学力アップだけでなく、時には、心に揺さぶりをかけるものという視点でも教材を選びます。そのような題材も、コミュニケーションが活発に生まれ、そのやりとりの中で新しい視点を見つけることもあるからです。

中央大学の日本語クラスで得られるもの

1) 自信と自律的継続力

さて、日本語力についてですが、どんなに勉強しても留学生が日本人より日本語ができるようになることはまず難しいでしょう。でも、実はそれはあまり大切なことではありません。大切なのは、自分が身につけた日本語で自信をもってコミュニケーションができるようになること、また、どうすれば自分の目標に近づけるのか、自分なりの方法を見つけることです。そして元気がなくなった時も自分を励まし、時には少し休みながらも継続していく「コツ」を見出すことが大切です。そのコツはその人なりのものなので、自分に合った方法を自分で見つけ出さなくてははいけません。

中央大学の日本語クラスでは、語学力を伸ばすだけではなく、自分に合った方法で継続していく自律的な力の育成も目指しています。そのための工夫が、経験豊富な先生方によって授業のあちこちに取り入れられています。授業の中に様々な「コツのヒント」がちりばめられているのです。

2) 異文化理解力

日本語の授業について、もう一点重要なことがあります。それは日本語クラスの中は「異文化交流の場である」ということです。国が違う場合はもちろん、同じ国から来ても出

身が違えば、文化や習慣、考え方も同じではないはずです。異なる点・類似点を紹介し合い、それぞれの理解・考え方を共有し、討論をしながらクラスが進みます。つまり日本語クラスでは、異文化間理解・交渉・共有のプロセスも生まれているのです。先生方はそういった教育効果も計画に入れながら教材も選定しています。

日本語クラスでは、教材を言語的に理解するだけでなく、クラスメートや教員との議論を通じて、異なるものに出会った時にどう感じるか、感じたことをどう考えるか、そしてどう理解し、共有するかといった多様性の尊重、多文化共生の考え方も身につけていきます。

留学は変化に対する適応力をつけます。そして日本語クラスでは、日本語力の向上はもとより、より広い視点を身につけ、言語・文化の制約を飛び越えていけるグローバルな視野の育成を目指し、それぞれの教員が個性豊かに支援を行っています。2年間の必修日本語授業を取り終えた頃には、中央大学に入った時の不安な気持ちは薄らぎ、静かな自信がつき始めてきていることでしょう。

中央大学の留学制度

海外留学には色々な種類があります。皆さんの周りにも、高校を卒業したら海外の大学に進学するという方がいるかもしれません。海外の大学で4年間を過ごし、学位取得を目指す留学もあれば、2週間～1ヵ月程度の語学留学もあります。

中央大学の留学制度は、大学に在籍したまま一定期間を海外の大学で学び、その成果（修得単位）を、本学の卒業に必要な単位として認定するものです。大学に在籍したまま留学する制度ですから、4年間での卒業が可能であるほか、要件を満たせば、留学のための奨学金を受給できるというメリットもあります。

中央大学の留学制度は、以下の3種類があります。さらに次のページでは、商学部独自の留学制度についてご紹介しています。

1. 長期留学（期間：1年間または1セメスター）

① 交換留学

中央大学の協定校への留学です（すべての協定校で募集が行われるわけではありません）。募集は留学年度の前年に行われ、留学先の学期が春に始まる国（オーストラリア・韓国）は6月頃、秋に始まる国（アメリカ、メキシコ、中国、ヨーロッパ等）は11月下旬が応募時期となります。交換留学は、一部協定校を除き、留学先の学費が免除となります。各留学先大学への派遣人数が限られていますので、学内の選考によって留学生を決定します。単位認定は1年間で最大40単位、1セメスターで最大20単位です。

② ISEP

ISEP（International Student Exchange Programs）加盟校への留学です。留学先大学により、Exchange（授業料免除型）とDirect（授業料負担型）の2種類のプログラムを提供しています。募集時期および選考方法は交換留学と同様です。学内応募の際、交換留学協定校との併願が可能です。単位認定は1年間で最大40単位、1セメスターで最大20単位です。

③ 認定留学

協定校に限らず、学生自身が選択した海外の大学に留学する際に適用されます。自分で大学を選ぶということが最大のメリットです。ただし、自分で探した留学先大学と直接コンタクトを取り、留学の許可を得なければなりません。また、大学（学部、コース、課程）によっては、認定留学先として許可されない場合があります。早めの留学準備を心がけると同時に、あらかじめ商学部事務室や国際センターに相談してください。

2. 短期留学（期間：3～4週間）

学部間共通科目として、夏季と春季の年2回実施されます。長期休暇中に協定校で実施される語学研修への参加と、中央大学で実施される事前授業または事前・事後研修受講に参加することで4単位または2単位を修得できます。全学部生を対象として以下の大学で実施されています。（次頁参照）

夏季短期留学プログラム 4単位または2単位
カリフォルニア大学デイヴィス校(アメリカ)
シェフィールド大学 (イギリス)
スウィンバーン工科大学 (オーストラリア)
チュービンゲン大学 (ドイツ)
トゥールーズ＝ジャン・ジョレス大学 (フランス)
メキシコ国立自治大学 (メキシコ)
檀国大学 (韓国)*
慶熙大学 (韓国)*
国立中央大学 (台湾)*
* 2単位プログラム

春季短期留学プログラム 2単位
ハワイ大学マノア校 (アメリカ)
スウィンバーン工科大学 (オーストラリア)
アリカンテ大学 (スペイン)
フリンダース大学 (オーストラリア)

* 各留学制度ごとに参加要件が定められています。詳細は入学後、『STUDY ABROAD GUIDE BOOK 国外留学の手引き』および『短期留学プログラム募集要項』（国際センター発行）で確認してください。

商学部の海外渡航制度

中央大学の留学制度に加えて、商学部では学部独自の留学制度を用意しています。商学部生のみを対象とするプログラムと、他学部履修を認めているプログラムがあります。みなさん自身の希望や目標に合わせて、留学制度を選んでください。

また、留学を志す方向けに各種奨学金制度もありますので、早めに情報収集をして活用できるとよいでしょう。

① 商学部留学プログラム（期間：短期または1セメスター）

国際社会に相応しいグローバルな人材を育成することを目的とした商学部独自の留学プログラムです。帰国後には、留学の成果を確認した上で商学部の科目として単位が認定されます。

英語圏は1セメスター、第二外国語圏は短期および1セメスターのプログラムがそろっており、1セメスタープログラムでは語学の学習に加え、様々なトピックを扱う授業を体験できる内容となっています。

英語圏・第二外国語圏ともに留学を志す学生向けの語学クラスや授業が設置されていますので、入学後のガイダンスで詳細を確認のうえ、ぜひ挑戦してください。

英語圏派遣先 <1セメスター>

- トロント大学（カナダ）、セント・ラ・サル大学 LSLC（Language Skills Learning Center）（フィリピン）

第二外国語圏派遣先（一部抜粋） ※詳細は商学部事務室へお問い合わせください。

<1セメスター>

- ドイツ語圏：ウィーン大学
- フランス語圏：エクス・マルセイユ大学
- スペイン語圏：アルカラ大学、アリカンテ大学、サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学
- 中国語圏：復旦大学、北京師範大学、对外経済貿易大学
- 朝鮮語圏：延世大学、慶熙大学

<短期（3～4週間）>

- ドイツ語圏：ウィーン大学
- フランス語圏：トゥールーズ＝ジャン・ジョレス大学
- スペイン語圏：アルカラ大学、アリカンテ大学、サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学
- 中国語圏：北京語言大学
- 朝鮮語圏：延世大学、慶熙大学

② Future Global Leaders Program（約3週間）

商学部の「英語（e2）（Future Global Leaders Program）」として実施される米国での短期留学プログラムです。カリフォルニア州に位置する University of California San Diego（UCSD）に滞在し、現地大学院の教授を含む講師陣から社会、経済、環境などに関する講義を受講します。プログラム1週目は英語に慣れるためのクラスが用意されるほか、プログラム中は現地コーディネーターが参加者をサポートしてくれるため、授業の質やレベルは高いながらも、留学初心者にもおすすめのプログラムとなっています。

帰国後に行う英語でのプレゼンテーションが評価対象となり、2単位が付与されます。

*各留学制度の参加要件やスケジュールは、入学後の留学ガイダンスでご確認ください。商学部事務室においても随時ご相談・ご質問を受け付けています。

中央大学のグローバル情報をもっと知りたい方はこちらへ

GO GLOBAL 中央大学から世界へ。

商学部のグローバル科目

商学部の給付奨学金



～知らなきゃ損！奨学金制度～

留学にはお金がかかります。本学には皆さんの夢の実現をサポートするための奨学金制度があり、商学部生は以下の奨学金を利用することができます。それぞれの奨学金に GPA や語学力の基準がありますので、早めに情報収集をして、基準をクリアできるように準備をしましょう。

奨学金名称	対象	金額	募集時期
商学部留学プログラム 給付奨学金	商学部留学プログラムで留学する学生のうち、学力・人物ともに優れ、留学における成果が大きく期待できる者	短期：15万円 1 セメスター： 最大60万円（地域によって異なる）	短期（夏季）：6月中旬 短期（春季）：11月中旬 1セメスター（秋派遣）：2月下旬 1セメスター（春派遣）：10月下旬
チャレンジ奨学金 （オーバーシーズ・プラン）	海外における活動（留学・インターンシップ・ボランティア等）に挑戦する1～4年次の学生	10万円	春募集：4月上旬 秋募集：10月上旬
長期留学支援奨学金	長期留学（交換留学・ISEP・認定留学）の制度を利用する学生の内、学力が優れ、留学における成果が大きく期待できる者	最大30万円 （期間、地域によって異なる）	9月中旬

※奨学金の概要、金額、募集時期は変更になる場合があります。最新情報は商学部事務室または国際センター事務室で確認してください。



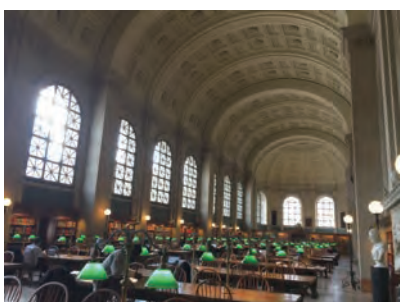
スウィンバーン工科大学
（オーストラリア）



ローマ・ストリート・パークランド



シドニー・オペラハウス



ボストンパブリック
ライブラリー



ボストンレッドソックスの球場
（フェンウェイパーク）



明・清朝の宮殿（紫禁城）
北京故宮博物院

東テネシー州立大学（アメリカ）長期留学プログラム

経営学科3年 生駒 啓祐

私は高校生の頃から海外で学ぶことに憧れていましたが、コロナ禍により断念。大学入学後に参加した留学説明会を機に再び意志を固め、アメリカ留学を決意しました。

留学中最も印象に残っているのは、リーダーシップ論の授業で行った自己分析と他己分析のディスカッションです。自分が認識する性格とクラスメイトから見た私の性格が大きく乖離しており、日本社会とアメリカ社会では自分の見られ方が異なることを肌で実感しました。また、Preview という大規模な新歓イベントやアメフトの試合観戦、地域のクリスマスイベント、国際交流コミュニティへの参加など、アメリカならではの文化や多様性に触れる刺激的な毎日を送りました。

留学では、日本で築いた人間関係を一旦離れ、一から関係を築くことが求められます。イベントへの参加は任意だからこそ躊躇する気持ちも生まれますが、「留学生生活を充実させる」という信念のもと挑戦し続けたことで、挑戦に対する前向きな姿勢を得ることができました。

最初的一步を踏み出せば、あとはやるしかない割り切れます。悩んでいるなら、ぜひ留学に行ってみてください。



～国際コミュニティの友人たちとともに～

スウィンバーン工科大学（オーストラリア）交換留学

会計学科4年 岡田 翔

留学を決めた理由は、海外生活への憧れや、何か大きな挑戦をしてみたい、語学力を身につけて就職活動に活かしたいと考えたからでした。中大の数ある協定校からオーストラリアの大学を選んだのは、多文化社会、キャンパスが都会にあること、アルバイトができること、そして時差が小さく就活の面接を受けやすかったことが理由です。

留学生活で印象に残っているのは、ビーガンやベジタリアン、ヒンドゥー教徒など、食に制約のある人たちと生活したことです。特に、留学中に一番の親友となったルームメイトがビーガンで、共同生活を通してビーガンフレンドリーな生活を体験することができた。今でもレストランに行くと、ついビーガンメニューがあるか確認してしまいます。

留学を通じて英語力だけでなく、間違いを恐れずに話す自信や、海外に生涯の友人を作ることができました。留学で得た経験を活かし、ボスカリで内定を得ることもできました。そして、この素晴らしい経験や思い出が中大や JASSO、両親の支えによって実現したことへの感謝の気持ち強くなりました。

新入生の皆さんには、「迷ったら行くべき」と伝えたいです。



～帰国前日にルームメイトがお別れ会を開いてくれた～

トルーマン州立大学（アメリカ）交換留学

商業・貿易学科4年 田村 王識

海外に興味があり、何となく留学を考えていたもののコロナでもう無理かなと考えていました。しかし学生での留学経験は今しかないと思い、4年秋からの留学を決断しました。ゼミでアメリカの歴史を扱い、またアメリカの大規模農業などにも興味があった為、今回の留学先を選びました。留学当初、いきなり現地の授業に慣れるのには苦労しました。

しかし、教授や周りの友人に助けを求めれば、皆手を貸してくれます。その成果もあり、気づけば自分が日本の大学生

であることを忘れてしまうぐらい、充実した留学生活を送ることができました。現地ではアメリカの農家を訪問し、サンクスギビングを教授の家で過ごすなど現地らしい体験も多くできたと思います。また、アメリカ人に限らず、留学生も多くいたため、彼らとの交流もとても楽しかったです。最後に留学に少しでも興味がある、悩んでいる人へ。留学に遅い、早いはありません。留学はいろいろと大変だと思いますが、一生の経験になることは間違いありません。周りや就活に振り回されて、留学を悩んでは勿体ないと思います。少しでも興味があれば、是非経験してほしいと思います。



～冬休みにアイススケートに行きました～

ボストン大学（アメリカ） 商学部留学プログラム

国際マーケティング学科3年 平下 千暁

私は将来、外国と関わる仕事に就きたいという夢があり、そのために英語力を身につけようと留学を決意しました。私のフライトはボストンへの直行便ではなく、ニューヨークで乗り換える必要があったため、日本を出国した初日から、一人で無事にたどり着けるかという不安もありました。しかし、到着後はその不安もすぐに期待へと変わりました。

留学中は多くの刺激を受け、とても有意義な日々を過ごしました。ホエールウォッチングに行ったり、ハロウィンには仮装メイクをして Salem を訪れたり、メイン州のポートランドへ日帰り旅行をするなど、友達と楽しい思い出をたくさんつくることができました。中でも特に印象に残っているのは、二度目の対面にも関わらず、カンパセーションパートナーの実家に招かれ、ピクニックをしたことです。

また、留学の成果として、現地の友人と積極的に話す中で、リスニング力とコミュニケーション力が大きく向上したと実感しています。

留学はさまざまな国籍の方と出会い、異文化に触れ、人間関係の輪を広げられる貴重な機会です。少しでも興味がある人は、ぜひ挑戦してみてください！



～友達の実家からドライブしている時の一枚～

グルノーブル・アルプ大学（フランス）商学部短期留学プログラム

国際マーケティング学科 3年 鹿島 天花

高校の第二外国語でフランス語を選択したことをきっかけに、大学でもインテンシブコースを履修し、語学や文化について学んできました。せっかく時間をかけて学んだ知識を実際に活かしたい、授業で耳にしてきたフランスの風景や文化を見てみたいという思いから、短期留学プログラムへの参加を決めました。

特に印象に残っているのは食文化です。ホームステイ先では毎日のようにワインを振る舞ってもらい、食後にはパンやチーズ、甘いデザートが並んでいました。他のホームステイ生からも同様の話を聞き、フランスでは食事そのものを大切にする文化が根付いていると感じました。

平日は語学学校に通い、フランス語でフランス語を学びました。自分に合ったレベルのクラスで、周りに遅れを取らないよう集中して授業に臨み、毎日の授業が刺激的でした。帰国後も仏検準2級合格に向けて勉強を続けています。

留学は語学力を伸ばすだけでなく、買い物や外出など日々の何気ない行動一つひとつが挑戦であり、達成感を得られる貴重な機会です。その積み重ねは確実に自信に繋がります。迷っている方はぜひ挑戦してみてください。



～語学学校最終日に先生とクラスメイトと撮った写真～

トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校（フランス）商学部短期留学プログラム

国際マーケティング学科 3年 松山 奈央

高校生の時から学んでいたフランス語を使える環境に身を置いてみたいと思いながらも、留学には踏み出せずにいました。そんな中、履修していたGS講座でフランスの留学資格が得られることを知りました。この機会を逃したら次はないと思い、留学を決意しました。

滞在中、最も印象に残ったのは、間違ったバスに乗り、見知らぬ終点で降ろされてしまった時のことです。途方に暮れている私に、同じく乗り間違えた親子が声をかけてくれました。そして経路を調べてくれたり、近くのバス停まで一緒に走ったりしました。正しいバスに乗れた後も、降りるまで気にかけてくれて、現地の人の温かさに触れることができました。留学後に行ったパリの一人旅では、全てをフランス語で完結させることができました。さらに、現地の店員さんからフランス語を褒めてもらい、留学の成果を実感できたときは胸がいっぱいになりました。

様々な国籍の友人と一緒にフランス語を学び、多くの出会いや成長を得られた最高の夏でした。留学はハードルが高く思えますが、考えるより先に行動してみるのも手です。迷っているなら、ぜひ挑戦してみてください！



～ルームメイトとホストマザーと市内観光へ～

ウィーン大学（オーストリア）商学部短期留学プログラム

会計学科3年 上原 愛美

私がドイツ語圏への留学を決めるには、幾つもの些細なきっかけがありました。まず「海外へ行ってみたい!」という好奇心、ドイツ語やドイツ語圏の文化を学ぶことの楽しさ、そして中央大学には第二外国語圏へ留学できるプログラムがあったことです。せっかく中大に入学して様々な選択肢があるのなら、大学生のうちに出来る事はしたいと思い留学することを決めました。実際に留学し、どこを切り取っても優美なウィーンの街並みや芸術・美術に対する意識の違い、現地の方の優しさを肌で感じる事が出来ました。老舗のパン屋へモーニングを食べに行った際、お会計をドイツ語で挑戦してみたところ、店員さんから笑顔で「ドイツ語の発音が上手ね!」と嬉しい言葉をいただきました。その他にも沢山ある、留学中に上手くいったことや失敗したこと、大変だったことも辛かったことも、全てが紛れもなく私の宝物です。

留学という挑戦をしなければ得られなかった多くの経験と人生の財産を享受することが出来ました。新入生のみなさんには、様々なことに好奇心を持ち、中央大学という恵まれた環境で臆することなく挑戦してみしてほしいです。



～ウィーン中心部にある国会議事堂～

北京語言大学（中国）商学部短期留学プログラム／北京師範大学（中国）商学部留学プログラム

国際マーケティング学科3年 入村 恵梨佳

第二外国語として中国語を学んでいくうちにコミュニケーション力を上げたいと思っていました。また、実際に現地で過ごして「中国はどんな国か」を自分の目で確認したくて留学することを決めました。

印象に残ってる思い出は、留学終盤にあった学習旅行です。留学生たちと先生と一緒に寝台列車に乗って中国の南の方へ行きました。留学当初は全然聞き取れず、自分が言いたいこともうまく伝えられなかった中国語で、他のクラスの留学生と仲良くなったり、ガイドさんの案内を聞き取ることができたので自分の成長を感じることができた旅行でした。

留学を通して得たものは語学力だけではありません。消極的な性格の私ですが、留学中は色々なことに挑戦しようと心がけていました。自分から声をかけて仲良くなった友達と日帰り旅行に行ったり、太鼓サークルの仲間と練習を重ねて舞台上で演奏をやりきったときは「あの時勇気を出してよかったな」と思えました。

海外で生活することに不安もあるかもしれませんが、一歩踏み出せば色々な出会いや成長が見つかると思います！ぜひチャレンジしてみてください。



～学習旅行でクラスメイトと先生と一緒に～

サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学（スペイン）商学部留学プログラム 国際マーケティング学科3年 田村 文乃

大学入学後、第二外国語としてスペイン語を学び始めたことで、以前から関心のあったスペイン文化を現地で体感したいと思うようになりました。実際の生活の中でスペイン語を使いながら学びを深めたいと考え、留学を決めました。

私はスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラに2か月間留学しました。留学先では、スペイン語の授業に加え、ガリシア地方の文化やダンスに触れる機会が多くありました。また、多国籍の学生と関わり、授業や日常生活を通して様々な価値観に触れられたことも貴重な経験です。

ホームステイ先の家族はとても優しく明るく、私を本当の家族のように受け入れてくれました。一緒にダンスやゲームをしたり、絵本を読んだり、誕生日を祝ってもらったりした時間は、大切な思い出です。最初は生活面で戸惑うこともありましたが、会話を重ねることで、少しずつ現地の生活に慣れました。

この留学を通じて、語学力だけでなく、異なる価値観を受け入れる姿勢や、自分から行動する力を得ました。留学に不安を感じる人もいると思いますが、必ず何にも代えがたい貴重な経験となるので、ぜひ大学生のうちに挑戦してみてください。



～ホームステイ先の家族と～

延世大学語学堂（韓国）商学部短期留学プログラム

国際マーケティング学科2年 榎元 理緒

私が韓国への語学留学を決めた理由は授業よりもレベルの高い韓国語を学びたいと考えたためです。今回の短期留学は春休み期間を利用でき、挑戦しやすかったことも後押しとなりました。

留学先の語学堂では語学レベルごとにクラス分けをし、自分の実力に合った内容を勉強できます。印象に残っていることは韓国語で韓国の新聞の記事について発表したことです。韓国語の記事を読み、暗記で発表したため難しかったですが、準備・練習を通して力がついたと感じています。

留学で得た成果の一つにリスニング能力が向上したことがあります。韓国語に囲まれた生活を通して耳が慣れてきて、留学後の韓国語の語学試験のリスニングでは高得点を取ることができました。さらに韓国語を話すことへのハードルが下がったと感じています。

同じ目標を持つ仲間から刺激をもらったり、現地の文化にも触れながら学習できるので日本での学習よりさらに学びが深まったと思います。また、留学の醍醐味は人との出会いだと思います。たくさんの出会いに恵まれ世界中に友人ができました。短期間ですが必ず成長できると思うのでぜひ挑戦してみてください。



～留学先のクラスメイトとともに～

※記載の学年は体験記執筆当時のものです。

※商業・貿易学科は2022年4月より国際マーケティング学科に名称変更しました。

留学サポート団体 C-pass について

留学に興味があっても、期間や費用、目的、留学先の環境などが大きく異なる多様なプログラムの中から、自分に合ったものを見つけるのは簡単ではありません。

そこで商学部には、留学経験者による「留学サポート団体 C-pass」があります。英語圏や第二外国語圏に留学した商学部の学生が中心となり、相談に乗ったり、語学力の向上のためのアドバイスをしてくれたりします。個別相談にも応じてくれますので、ぜひ Instagram をフォローして積極的に活用してください。

* C-pass の活動はこちらから



商学部外国語履修ガイドブック 2027

中央大学商学部事務室 〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

TEL 042-674-3519

商学部公式Webサイト <https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/commerce/>



商学部
公式 Web サイト



中央大学マスコットキャラクター
「チュー王子」